

この1冊で「ラグビーのまち」の情報がまるわかり!

日本語

反対面は英語版
The opposite side is in English

いわて。かまいし

ラグビー応援ガイドブック

元気な岩手・釜石を楽しもう!

産業の歴史を学ぼう
鉄の歴史館

夢と希望と勇気に乗せたスタジアム
釜石鶴住居復興スタジアム

必見!世界遺産
橋野鉄鉱山

高台に立つ白亜の観音像
釜石大観音

岩手県マスコット
ラグーそばっち

釜石市マスコット
ラグーかまりん



未来への船出

わたしは、釜石が好きだ。
海と山に囲まれた、自然豊かなまちだから。

わたしは、釜石が好きだ。
空気も人の心も、温かくて綺麗なまちだから。

わたしは、ラグビーが好きだ。
中学2年生のとき、

2015年のラグビーワールドカップ
イングランド大会を現地で観戦して、
スタジアムの雰囲気とその迫力に圧倒されたから。

わたしは、ラグビーが好きだ。
試合後、ファン同士が敵味方関係なく握手をし合い、
一緒になってゴミ拾いをしている姿に感銘を受けたから。
7年前の3月11日。

小学校3年生だったわたしは、算数の授業を受けていた。
防寒着を着て、校舎の5階へ逃げた。
土砂崩れが起きて、もっと高くへ逃げた。
うしろを振り返れば、
鶴住居を飲み込む津波が見えたかもしれない。
けれど、わたしは「とにかく逃げなきゃ」と焦っていた。

たまたま通りがかったトラックに乗って、
まちの体育館へ避難した。
1列に並んで2人ずつ分けたおせんべい。コップ一杯の水。
そのときの自分の気持ちはうまく思い出せない。
数日経つおにぎりを1つ食べたときに、
生きていたことのように喜びを
じんわりと感じたことは憶えている。

2019年。
大好きな釜石のまちで、
大好きなラグビーの国際大会が行われる。
そして、このスタジアムは、完成した。
そして、釜石は、世界とつながる。

いま、わたしがしなければならぬことは、
あのとき、釜石のために支援をしてくれた
日本中の、そして世界中の人たちにあらためて
感謝の想いを伝えることだと思う。

このスタジアムがつけられたのは、
わたしの小学校があった場所。
入学するはずだった中学校があった場所。
そして、離れ離れになってしまった
友だちとまた会える大切な場所。

今日は、そんな想いのつまったスタジアムが生まれた日。
日本中の釜石を愛する人たちと、
世界中のラグビーを愛する人たちと、
この日を迎えられることを祝い、そして感謝したい。
このスタジアムはたくさんの方の感謝を乗せて、
今日、未来へ向けて出航する。

2018年8月19日
釜石高校2年 洞口留伊

市民の夢と 希望と勇気を 乗せたスタジアム

ラグビーワールドカップ2019™の開催にあたっては、感謝の心で日本中世界中の皆様を歓迎し、
小さな町の不屈の魂で成功に導き、次世代に誇りと希望を伝えていきます

釜石鶴住居復興スタジアム

スタジアムロゴ



スタジアムを囲む豊かな自然を表現。赤い丸は「新しい出発」の意を込めて海からの「日の出」を表現し、3つのウェーブは、解放された空、豊かな山林、豊かな海というスタジアムの個性を表しています。



ラグーかまりん

ラグーそばっち



震災からの大きな羽ばたき・新たな船出

メインスタンドの大きな屋根幕は、鳥の羽根や、船の帆をイメージして造られました。これは震災からの大きな羽ばたきや新たな船出し、復興を目指した新たなスタートをイメージしているものです。



豊かな自然に囲まれたスタジアム

2017年5月に釜石で発生した尾崎半島山林火災の被害木(スギ約800本)を活用して、木製シート4,990席、ベンチ108基、トイレ5棟、日よけのためのルーバーを設置し、豊かな自然に囲まれたスタジアムで、世界中からの来訪者をおもてなしします。



最高のグラウンドコンディションを提供

優れた耐久性と衝撃吸収性のほかメンテナンス性にも優れ、床土改良型のハイブリッド天然芝(日本初導入)を採用することで、世界最高のパフォーマンスに必要なグラウンドコンディションを提供することができます。



防災を象徴する場所

2011年の東日本大震災津波の際、手に手をとって津波から逃げて助かった鶴住居小・釜石東中の児童、生徒たちの率先避難行動は、世界中に広く紹介されました。小中学校跡地に建設された釜石鶴住居復興スタジアムは、釜石市の防災の考え方を広く発信しながら震災の記憶と防災の知恵を伝えるものです。

津波の際の緊急避難



東日本大震災津波を教訓として、スタジアムからの津波避難場所を「鶴住居小・釜石東中」及び「かまいしワーク・ステーション」の2ヶ所に設定し、津波注意報以上が発表された場合には、迅速な観客の避難誘導を実施します。

CONTENTS もくじ

未来への船出	2	TRY108 かまいし MAP	16
釜石鶴住居復興スタジアム	3	TRY109 岩手の見どころ・観光地	18
TRY101 かまいしでRWC2019™日本大会を楽しもう	4	TRY110 いわて世界遺産をめぐる	20
TRY102 ファンゾーン in 岩手・釜石	6	TRY111 みちのく湖風トレイル・三陸ジオパーク	22
TRY103 パブリックビューイング	8	TRY112 岩手の名湯巡り	24
TRY104 岩手のイベント	9	TRY113 岩手のグルメ	26
TRY105 東日本大震災津波からの復興	10	TRY114 岩手の伝統的工芸品	28
TRY106 岩手県内の震災伝承施設	12	アクセスガイド	30
TRY107 かまいしまちめぐり	14	岩手からひとあしのぼしてみよう!	31

ご利用にあたって

※当ガイドブックに掲載されている情報は2019年6月30日現在のものです。掲載の商品内容、料金ほか各観光施設・店舗等の休業日・営業時間及びイベントの開催日時等各種データは変更になる場合がございます。あらかじめ出発前にご確認ください。※写真は全てイメージです。実物とは異なる場合があります。また、掲載されている地図の位置や縮尺、所要時間などはおおよその目安となるものです。※掲載の電話番号は、各施設の問合せ用のため、現地の番号と異なる場合があります。カーナビ等での位置検索で実際とは異なる場所を示す場合があります。また、ガイドブックで掲載された内容により生じたトラブルや損害等については補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。※当ガイドブックに掲載されているツアー等のお申し込みは受け付けておりません。お問合せは直接、各旅行会社等へお願いいたします。



『未来への船出』とは

釜石鶴住居復興スタジアムオープンDAY当日、釜石高校2年(当時)の洞口留伊さんにより披露された「キックオフ宣言」です。洞口さんは、東日本大震災津波発生時は小学校3年生。当時通学していた校舎は津波で被災しましたが、その跡地に釜石鶴住居復興スタジアムが完成しました。



◀「キックオフ宣言」
動画はコチラ



試合当日 スタジアムへの 来場方法

各予約申し込みはこちらから
ホームページ
「いわて・かまいしラグビー情報」



RWC2019™日本大会
公式マスコット「レンジャー」

⚠️ ご注意ください
釜石鶴住居復興スタジアム及びその周辺へ
自家用車での乗り入れは**できません**。
(スタジアム周辺では交通規制が実施されます。)

ライナーバス 要予約・有料

1人あたり片道 1,000円

往復ご利用いただく場合、往路・復路でそれぞれご購入ください。

盛岡駅、いわて花巻空港（新花巻駅経由）、新花巻駅、北上駅、水沢江刺駅、一ノ関駅、宮古駅、盛岡からスタジアムへ直通するライナーバスを運行します。詳しくはホームページをご覧ください。

シャトルバス 要予約・有料

1人1日あたり 500円

1日券となりますので往復でご利用いただけます。

釜石市民ホール及びシープラザ釜石からスタジアムまでシャトルバスを運行します。

パーク&ライド駐車場 要予約・有料

車両1台あたり 1,000円

駐車場とスタジアム間で運行するシャトルバスは無料です。

大槌町、遠野市、釜石市に自家用車を駐車し、スタジアム行きのバスに乗り換えるパーク & ライド駐車場をご用意しています。

- 大槌 IC より 大槌町の駐車場
- 大槌町職員駐車場
- 遠野 IC より 遠野市の駐車場
- 遠野運動公園
- 釜石唐丹 IC より 釜石市の駐車場
- 平田特設駐車場 (水産技術センター付近 岩手大学釜石キャンパス隣接地)

路線バス

岩手県交通 釜石駅前バス停 → 寺前バス停

鉄道

スタジアム最寄り駅は三陸鉄道リアス線「鶴住居駅」となります。

JR 釜石線をご利用の方は、JR 釜石駅で乗り換えが必要となります。(JR 釜石駅→三陸鉄道鶴住居駅)

※利用人数によっては希望の列車に乗車できない可能性があります。

ホームページ「いわて・かまいしラグビー情報」

スタジアムへのアクセス方法やスタジアムで観戦するうえでの注意事項などの最新情報は、事前に当ホームページにてご確認ください。

宿泊や周辺イベント情報など、岩手・釜石でのラグビー観戦に役立つ情報も満載です！



かまいしでラグビーワールドカップ2019™日本大会を楽しもう

RUGBY WORLD CUP™ JAPAN 日本 2019



ラグビーワールドカップ2019™日本大会 岩手県・釜石市

2019年 9月25日 水曜日 14:15 キックオフ (11:45開場)

2019年 10月13日 日曜日 12:15 キックオフ (9:45開場)

フィジー v **ウルグアイ**

ナミビア v **カナダ**

岩手・釜石にはこんな国がやってくる！

フィジー

300以上の島からなる南太平洋の島国

【正式名称】フィジー共和国
【人口】約89万人【首都】スバ

ウルグアイ

欧州系民族が9割を占める南米の国

【正式名称】ウルグアイ東方共和国
【人口】約345万人【首都】モンテビデオ

ナミビア

ダイヤモンドやウラン等が豊富な国

【正式名称】ナミビア共和国
【人口】約253.3万人【首都】ウィントフック

カナダ

ロシアに次いで世界で第2位の広さ

【人口】約3,724万人
【首都】オタワ



ラグビーフィジー代表の情報

世界ランキング 9位 (2019.07現在)

2016年リオデジャネイロ五輪7人制ラグビー初代王者、バスワークで相手を翻弄する。



ラグビーウルグアイ代表の情報

世界ランキング 19位 (2019.07現在)

本大会で2大会連続、4度目の出場。伝統的にスクラムに自信を持つチーム。



ラグビーナミビア代表の情報

世界ランキング 23位 (2019.07現在)

RWCには5大会連続出場、FWがキッカーを全面に出すスタイルが特徴。



ラグビーカナダ代表の情報

世界ランキング 21位 (2019.07現在)

9大会連続の出場、キックでエリアを取り、勝負所でFWで押し切るスタイル。



ラグビーワールドカップ2019™日本大会の最新情報はコチラ

ラグビーワールドカップ 2019 検索 <https://www.rugbyworldcup.com/>

■ファンゾーンin岩手・釜石 営業スケジュール

月日	曜日	営業時間	パブリックビューイング	
			対戦カード	キックオフ
9月20日	金	12:00~21:30	日本vロシア	19:45
21日	土	10:00~21:30	オーストラリアvフィジー	13:45
			フランスvアルゼンチン	16:15
			ニュージーランドv南アフリカ	18:45
22日	日	10:00~21:30	イタリアvナミビア	14:15
			アイルランドvスコットランド	16:45
			イングランドvトンガ	19:15
23日	月	10:00~21:30	ウェールズvジョージア	19:15
24日	火	12:00~21:30	ロシアvサモア	19:15
25日	水	9:00~21:30	フィジーvウルグアイ	14:15
26日	木	12:00~21:30	イタリアvカナダ	16:45
			イングランドvアメリカ	19:45
27日	金	12:00~18:00		
28日	土	10:00~21:30	アルゼンチンvトンガ	13:45
			日本vアイルランド	16:15
			南アフリカvナミビア	18:45
29日	日	10:00~21:30	ジョージアvウルグアイ	14:15
			オーストラリアvウェールズ	16:45
30日	月	12:00~21:30	スコットランドvサモア	19:15
10月1日	火	12:00~18:00		
2日	水	12:00~21:30	フランスvアメリカ	16:45
			ニュージーランドvカナダ	19:15
3日	木	12:00~21:30	ジョージアvフィジー	14:15
			アイルランドvロシア	19:15
4日	金	12:00~21:30	南アフリカvイタリア	18:45

■周辺イベント ファンゾーン周辺のイベントにも注目!

- 9月21日~22日 釜石まるごと味覚フェスティバル
- 10月6日 全国虎舞フェスティバル
- 10月18日~20日 釜石まつり



ゲストやイベント内容などの最新情報はココでチェック!

いわて・かまいしラグビー情報 <https://www.rugby-iwate.kamaishi.pref.iwate.jp/index.html>

月日	曜日	営業時間	パブリックビューイング	
			対戦カード	キックオフ
5日	土	10:00~21:30	オーストラリアvウルグアイ	14:15
			イングランドvアルゼンチン	17:00
			日本vサモア	19:30
6日	日	10:00~21:30	ニュージーランドvナミビア	13:45
			フランスvトンガ	16:45
7日	月	12:00~18:00		
8日	火	12:00~21:30	南アフリカvカナダ	19:15
9日	水	12:00~21:30	アルゼンチンvアメリカ	13:45
			スコットランドvロシア	16:15
10日	木	12:00~18:00	ウェールズvフィジー	18:45
11日	金	12:00~21:30	オーストラリアvジョージア	19:15
12日	土	10:00~21:30	ニュージーランドvイタリア	13:45
			イングランドvフランス	17:15
			アイルランドvサモア	19:45
13日	日	9:00~21:30	ナミビアvカナダ	12:15
			アメリカvトンガ	14:45
			ウェールズvウルグアイ	17:15
19日	土	10:00~21:30	日本vスコットランド	19:45
			準々決勝第1試合	16:15
			準々決勝第2試合	19:15
			準々決勝第3試合	16:15
20日	日	10:00~21:30	準々決勝第4試合	19:15
26日	土	10:00~21:30	準決勝第1試合	17:00
27日	日	10:00~21:30	準決勝第2試合	18:00
11月1日	金	12:00~21:30	3位決定戦	18:00
2日	土	12:00~21:30	決勝	18:00



TRY! 02

ラグビーワールドカップ 2019™

ファンゾーン in 岩手・釜石



2015年イングランド大会のファンゾーンの様子



? ファンゾーンとは?

ファンゾーンとは、ラグビーワールドカップ 2019™日本大会開催期間中に、飲食ブースを併設した大型スクリーンによるパブリックビューイングや、ステージイベント、ラグビーの普及活動などが行われる大会公式のイベントスペースです。岩手県・釜石市では釜石市民ホールが会場に。性別や年齢問わず、みんなが楽しめるスペースになりますので、スタジアムで観戦できない方もファンゾーンで大会を楽しみましょう!

ファンゾーンコンテンツ

ファンゾーンでは、来場者の皆様が楽しめるさまざまなイベントを実施します。
※詳細につきましては、公式ホームページにてご確認ください。

ラグビーワールドカップ 2019™ ファンゾーンin 岩手・釜石

【会場】釜石市民ホール「TETTO」

【開催日】2019年9月20日(金)~11月2日(土)
※10/14~18、10/21~25、10/28~31を除く。

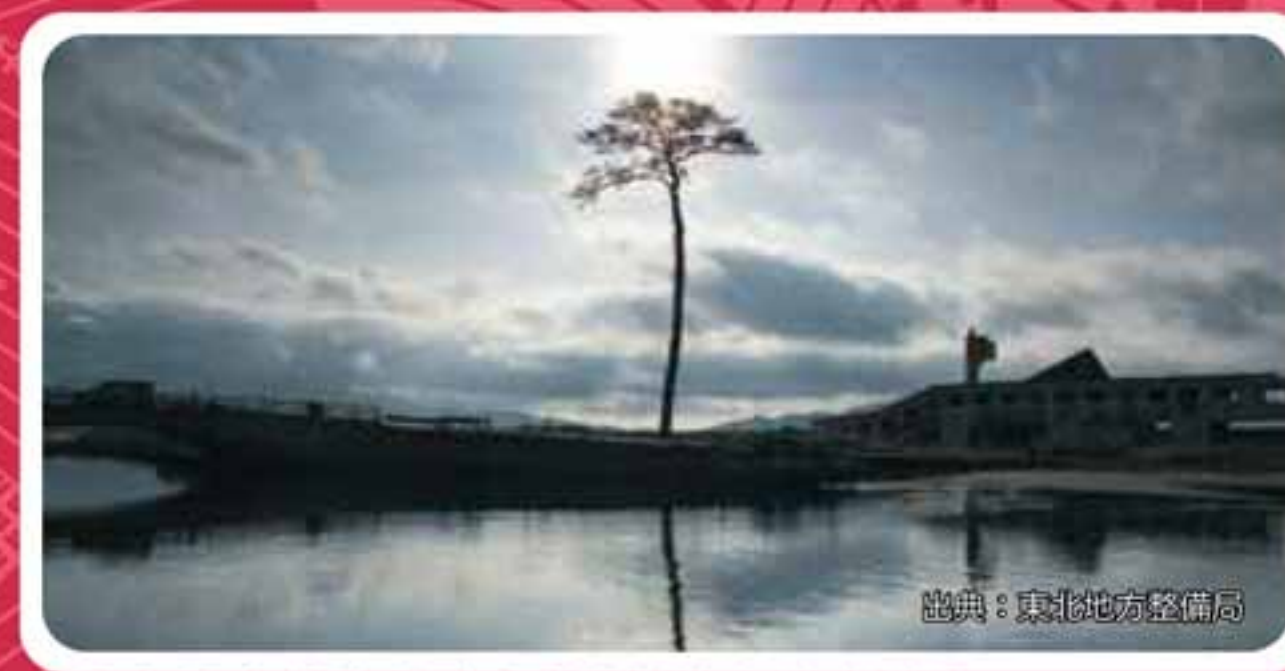
【テーマ】

- 東日本大震災津波被災地の復興の姿を発信
- 世界中から頂いた支援への感謝を伝える
- 岩手県・釜石市ならではのおもてなし
- 「希望と笑顔があふれる“ラグビーのまち釜石”」の実現



パブリックビューイング

ラグビーワールドカップ 2019™日本大会の全40試合を完全中継します。



出典：東日本地方整備局

復興情報発信ブース

2011年に発生した東日本大震災津波からの復興の姿をお伝えします。



ラグビーアクティビティ

ラグビーボールに触れながら、ラグビーの楽しさを体験できるコーナーです。

このほかにもファンゾーンを盛り上げる素敵なゲストや楽しいイベントが盛りだくさんです!

9月15日(日)～9月30日(月)
毛越寺萩まつり【平泉町】

秋の毛越寺浄土庭園は淡紅色の萩の花で彩られ、美しい趣をみせます。萩まつり期間中、琴や尺八による邦楽演奏会や茶会、「延年の舞」披露など、風情あるたずまいがみられます。

9月20日(金)～23日(月祝)
久慈秋まつり【久慈市】

久慈秋まつりは大神宮、秋葉神社、巽山神社の三社合同の祭りで、600年余の歴史を誇ります。初日(お通り)と3日目(お還り)は山車と神輿が久慈市内の目抜き通りを運行します。

9月21日(土)
賢治祭【花巻市】

宮沢賢治の命日に賢治詩碑の前で、賢治作品の朗読や合唱、童話劇の上演、郷土芸能の披露などが行われるほか、深夜までかがり火を囲み座談会が行われます。

9月21日(土)～9月22日(日)
釜石まるごと味覚フェスティバル【釜石市】
(下部にて紹介)9月21日(土)～9月22日(日)
日本のふるさと遠野まつり【遠野市】
約60団体が参加する遠野市最大の祭りです。南部ばやし、しし踊り、神楽、さんさ踊り、田植え踊りなどの遠野の郷土芸能や、神輿渡御が行われます。9月23日(月祝)
盛岡・いしがき
ミュージックフェスティバル【盛岡市】
盛岡城跡公園を主会場に、盛岡市内に設置された各ステージで音楽が鳴り響きます。有名アーティストや地元出身のアーティストのライブがあります。9月23日(月祝)
沢内甚句全国大会【西和賀町】

関東はじめ全国各地からのど自慢、踊り自慢の民謡ファンが集まり、唄と踊りの全国一をめざします。大会はラジオ中継されています。

9月28日(土)～9月29日(日)
南部牛追唄全国大会【岩泉町】

「南部牛追唄」の発祥の地とされる岩泉地方で開催される全国大会に、全国各地の民謡愛好家が集まり、自慢ののどを披露しています。

10月5日(土)～10月6日(日)
奥州市南部鉄器まつり【奥州市】

奥州市の伝統産業である南部鉄器。風鈴の涼やかな音が、みちのくの小京都水沢に初夏の訪れを告げます。観物新作展、観物市などが催されます。

10月12日(土)～14日(月・祝)
一関・平泉バルーンフェスティバル2019【一関市】

国内最高峰の熱気球競技大会「熱気球ホンダグランプリ第3戦」。競技飛行のほか、熱気球教室、熱気球係留(体験搭乗)、バルーンイリュージョンなどが行われます。

10月12日(土)～13日(日)
第8回全国ご当地もちサミットin一関【一関市】
もちの聖地、一関に全国各地のもち料理が大集合。来場者の投票で、グランプリを決定します。伝統的なもち料理をはじめ、創作もちやスイーツもちなど多彩なもちを楽しめます。10月13日(日)
三陸シーカヤックマラソンin宮古【宮古市】
シーカヤックに最適な宮古湾で開催されるシーカヤックレース。美しい岩場を眺めながらの洋上散歩は、繰り返したくなる体験です。10月17日(木)
福泉寺秋季大祭【遠野市】

大正元年に開山された福泉寺は境内の総面積6万坪、県内唯一の祈願霊場として新四国八十八ヶ所霊場、新四国三十三番観音霊場が奉安されています。

10月18日(金)～10月20日(日)
釜石まつり【釜石市】
(下部にて紹介)10月19日(土)～20日(日)
みちのく民俗村まつり【北上市】

みちのく民俗村は北上川流域の武家屋敷や商家、古民家など歴史的な建造物を復元、保存している野外博物館です。鬼剣舞や神楽などの民俗芸能公演や花嫁道中再現を楽しめます。

10月20日(日)～11月15日(金)
中尊寺菊まつり【平泉町】

境内の本堂前に、県内の菊愛好家たちが丹精込めた大輪の菊花や盆栽菊などが飾られています。

10月19日(土)～20日(日)
八幡平紅葉まつり【八幡平市】

「県民の森エリア」の3kmを、八幡平のさわやかな秋空とあざやかな紅葉を満喫しながら歩きます。健康な方はどなたでも、年齢・性別などを問わず参加いただけます。

10月20日(日)
平庭闘牛大会もみじ場所【久慈市】

東北地方唯一の闘牛大会です。迫力ある角突きや勇猛な牛の様子をまじかで見ることができます。

11月1日(金)～11月3日(日祝)
秋の藤原まつり【平泉町】

藤原四代公追善法要から始まり、稚児行列や郷土芸能の披露などが行われます。中尊寺の「中尊寺能」の奉納、毛越寺の「延年の舞」披露など、雅趣あふれるまつりです。

釜石まるごと味覚
フェスティバル

「食べてまんぶく、遊んでまんぞく、釜石を楽しめる2日間」をキャッチフレーズに開催される秋の味覚イベント。子供から大人まで楽しめるイベントになっています。



釜石まつり

中日には「曳き船まつり」が行われ、お召船を中心に、虎舞や神楽を乗せた十数隻の船が大漁旗をなびかせて釜石港内をパレードするほか、最終日は虎舞や神楽、手踊りなどが披露されます。

パブリック
ビューイング

2015年イングランド大会のファンゾーンの様子

パブリック
ビューイングへGO!

ラグビーワールドカップ2019™日本大会期間中は、県内各地でパブリックビューイングを開催します。釜石まで足を運べない方も、大会を楽しむことができますので、お近くの会場で、ラグビー選手の誇りをかけた、世界最高レベルの技とスピードを堪能しましょう。

パブリックビューイング開催スケジュール (2019年6月末時点で開催が決まっているもの)

月日	曜日	対戦カード	試合会場	キックオフ	会場市町村
9/20	金	日本 v ロシア	東京	19:45	盛岡市
9/25	水	フィジー v ウルグアイ	釜石	14:15	盛岡市、宮古市、北上市、遠野市
9/28	土	日本 v アイルランド	静岡	16:15	盛岡市、北上市
9/29	日	ジョージア v ウルグアイ	熊谷	14:15	北上市
10/5	土	オーストラリア v ウルグアイ	大分	14:15	北上市
		日本 v サモア	豊田	19:30	盛岡市、北上市
10/12	土	ニュージーランド v イタリア	豊田	13:45	久慈市 ※久慈市産業まつり会場内で実施
10/13	日	ナミビア v カナダ	釜石	12:15	盛岡市 宮古市 大船渡市 久慈市 遠野市 岩泉町 ※イーストピアみやこ開館1周年イベント会場内で実施 ※おおふなど夢商店街で実施 ※久慈市産業まつり会場内で実施 ※遠野市産業まつり会場内で実施 ※龍泉洞秋まつり会場内で実施
		日本 v スコットランド	横浜	19:45	盛岡市
11/2	土	決勝	横浜	18:00	盛岡市



ほかにもイベントがたくさん! 詳しくは岩手県観光協会ホームページでチェック!

ここに掲載しているイベントのほかにも、楽しいイベントがたくさん開催されます。各イベントの詳細、ほかのイベントをチェックしたい方は、岩手県観光協会HPへ。



会場や時間などの詳細は公式ホームページにてご覧ください!

いわて・かまいしラグビー情報 <https://www.rugby-iwate.kamaishi.pref.iwate.jp/index.html>



★ 自衛隊による活動

138日間にわたり多方面での支援活動を展開

東日本大震災津波では、10万7千人という空前の規模で自衛隊が派遣されました。陸・海・空の3自衛隊が、訓練以外で統合任務隊として運用されたのは初めてのことで。

自衛隊は、被災者の救出や行方不明者の捜索のほか、がれきの撤去、支援物資の運送、給水、給食のほか、女性自衛官による「お話し隊」が避難所を巡回して傾聴活動を行うなど、多方面にわたる活動を展開しました。



★ 消防による活動

全国からの援助隊と地元消防団により活動を展開

本県からの緊急消防救助隊派遣要請により、全国からの緊急消防援助隊の派遣数が延べ2,279隊、7,633人にのぼり、名古屋市消防局が県内消防活動全般の指揮をとるなど、多くの都道府県隊の支援による活動が行われました。

また、地元消防団員も、自ら被災した団員も多い中、被災住民の救助や避難所の運営支援、行方不明者の捜索活動などを行ったほか、近隣市町村の消防団員延べ1,400名以上による支援活動が行われました。



★ 被災市町村への職員派遣

全国の自治体等から4,300人を超える人材を確保

今回の震災により、沿岸の5市町村で108人の職員の方が犠牲となりました。このような中、発災直後の3月末に、名古屋市から陸前高田市に対して職員派遣の申出があり、その後も県内及び全国の自治体から同様の申出などにより、2011年度は171人を、2019年3月までに4,300人を超える人材を確保することができました。現在も全国の自治体に協力を依頼しています。



★ 全国から226人の警察官が本県へ特別出向

被災地の安全と安心の確立のために

2011年度から2016年度まで1都15県から延べ226人の警察官が本県に特別出向し、被災地の良好な治安の確保のため、応急仮設住宅の巡回やパトロール活動をはじめ、交通安全活動、犯罪の取締りなどに従事しました。

また、大船渡・釜石・宮古署では、沿岸地域の児童・幼児を対象に、ヒーロー寸劇等による防犯啓発活動も行いました。



★ 医療チームの派遣

全国各地の医師による被災地医療支援

発災直後には、国の要請を受けた全国のDMA Tが来援し、29都道府県の128チームがトリアージや応急処置、病院支援の活動を展開しました。

また、発災後間もなく岩手医科大学に設置された「災害時地域医療支援室」が窓口となって受入調整を行い、2011年12月末までの間に88チーム、延べ4,463人の県外医師による医療支援が行われました。

さらに、岩手県医師会(JMAT岩手)による、内陸部から沿岸被災地への診療支援活動により、2つの県立病院がその支援を受けました。



★ 海外からの支援

つながりに感謝

被災地では、米軍と自衛隊による「トモダチ作戦」をはじめ、米国・英国・中国などの救援隊も救援活動にあたりました。

また、発災直後から、多くの国々から支援物資が届けられたほか、世界各国からの義援金や寄附金が、三陸鉄道の復旧や被災地における保育所・学童施設・ホールなどの施設整備に役立てられました。



TRY! 05

東日本大震災津波からの復興

東日本大震災津波の概況

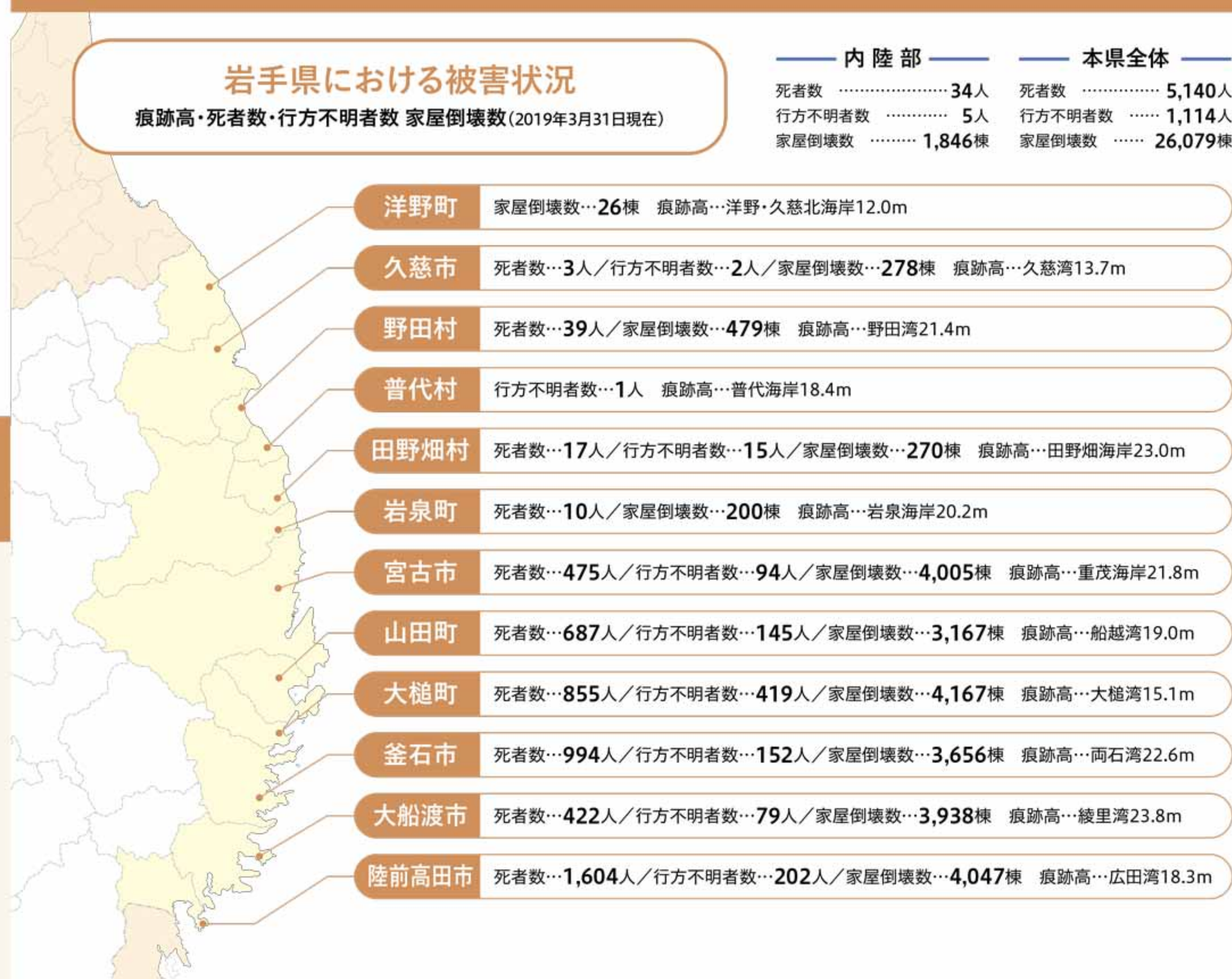
(岩手県災害対策本部調べ)

▶名称(発生日時) 東日本大震災津波(2011年3月11日(金)14時46分頃)
 ※地震による震災の名称について、政府は「東日本大震災」としていますが、岩手県では「東日本大震災津波」と表記することとしています。
 ▶震源地 三陸沖・牡鹿半島の東南東約130km付近(北緯38°06.2' / 東経142°51.6')
 ▶震源の深さ・規模 24km・マグニチュード9.0(モーメントマグニチュード)
 ▶本県の最大震度 震度6弱:大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市、藤沢町
 ▶津波の最大波 [宮古]11日15時26分 8.5m以上 [釜石]11日15時21分 4.2m以上 [大船渡]11日15時18分 8.0m以上 [久慈港]8.6m(推計値)

岩手県における被害状況

痕跡高・死者数・行方不明者数 家屋倒壊数(2019年3月31日現在)

内陸部	死者数	34人	死者数	5,140人
	行方不明者数	5人	行方不明者数	1,114人
	家屋倒壊数	1,846棟	家屋倒壊数	26,079棟



いわての学び希望基金

「いわての学び希望基金」は、東日本大震災津波で被災した子どもたちの「暮らし」と「学び」を支援するため、2011年6月に設けられました。震災津波から8年以上を経過した今も、国内外から多くのご寄附をいただいております。皆様からのご支援が子どもたちの希望と未来を創っています。

感謝のメッセージ



岩手県立釜石高等学校 3年 植田 由依さん

私は現在、自分の目標を実現するために、日々努力しています。現在の私の目標は、海外でボランティア活動を行うことです。小学校3年生の時に大震災が起きて、状況がよく呑み込めないまま、避難所で不安な日々を過ごしました。そんな中で、私に活力を与えてくれたのが、ボランティアの方々でした。その中には支援のために外国から来てくださった方もいて、明るい笑顔に私はとても勇気づけられました。このことがきっかけで、私はボランティアに興味を持つようになりました。ご支援をしてくださった方々のように、私も世界中の子どもたちを笑顔にできる活動がしたいです。

今、私は勉強や部活動に励み、充実した毎日を送っています。

そして、自分がやってみようと思ったことには意欲的に挑戦しています。オーストラリアへの短期留学や生徒会執行部の活動、ボランティアへの参加など、挑戦したことはどれも楽しいものでした。様々な価値観や職業の人と交流を持つことで、新しいものの見方、考え方を発見することができました。これからも高校生活をより充実したものにするために、多くのことにチャレンジしていきたいです。

こうして私が充実した日々を送れているのは、支援金を寄附してくださる皆様のおかげです。これからも日々向上心を持って生活し、目標を達成するための努力をしていきたいです。ご支援していただき本当に感謝しています。



岩手県内の 震災伝承施設

2019年7月1日現在

資料提供：震災伝承ネットワーク協議会

※本ページに掲載している震災伝承施設は、震災伝承ネットワーク協議会が行っている「震災伝承施設登録制度」により登録されている施設を抜粋したものです。



各施設についての詳しい情報は、
こちらのホームページをご覧ください。
震災伝承ネットワーク協議会ホームページ

TRY! 06



津波遺構 たろう観光ホテル

高さ17メートルを超えるとも言われる津波の被害を受けた「たろう観光ホテル」を津波遺構として保存整備した施設で、防災ガイドと合わせ、自然災害の恐ろしさと防災意識の向上を来訪者に伝えています。



たろう潮里ステーション

津波で全壊した観光案内所を、道の駅たろうに移転復旧した施設です。田老地区の防災ガイド「学ぶ防災」の受付、津波・防災に係る映像の上映など、震災・防災の拠点となっています。



宮古市市民交流センター 防災プラザ

東日本大震災の経験を伝え、防災教育、防災学習の充実を図ることを目的に、宮古市市民交流センター内に整備したエリアです。映像や模型のほか、クイズコーナーなど自然災害や防災減災に関する見学者の意識向上を目指しています。



田老防潮堤

東日本大震災の津波は、総延長2,433メートル、高さ10メートルの長大な田老防潮堤を越え、田老のまちに甚大な被害を及ぼしました。壊滅を免れ原形復旧された防潮堤は、津波の脅威を後世に伝えると共に、災害時の防災に貢献しています。



震災メモリアルパーク 中の浜

東日本大震災で高さ15メートルを超える津波の被害を受けたキャンプ場を、「自然の驚異や震災の記憶を後世に伝える場」として被災した当時の姿のまま保存整備した震災遺構の公園です。



大船渡市立博物館

映像コンテンツ「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡～」を展示しているほか、東日本大震災をはじめ、明治29年、昭和8年、昭和35年(チリ地震津波)の津波の写真や記録を展示しています。



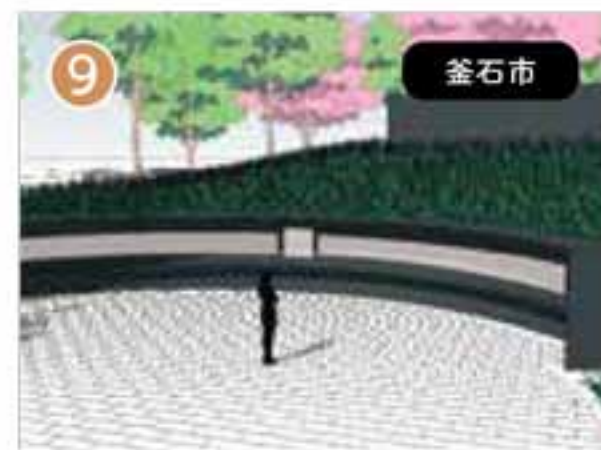
地下水族科学館 もぐらんぴあ

震災当時の状況や復旧・復興の歩みなどを、映像やパネル、スマートフォンやタブレットを利用したデータなどで紹介しています。



3.11 東日本大震災 遠野市後方支援資料館

東日本大震災において、遠野市が官民一体で取り組んだ沿岸被災地後方支援活動に係る記録資料を展示し、一般公開することにより、「忘れてはならない忘れさせてはならない」活動を伝えています。



釜石祈りのパーク

「津波による犠牲をなくし、未来の命を守るために」を基本理念に整備する東日本大震災の犠牲者を慰霊、追悼し、震災の記憶と教訓を後世に継承する施設です。



いのちをつなぐ未来館

東日本大震災の出来事や教訓を後世に伝え、次世代を担う子どもをメインターゲットにした防災学習を推進する拠点施設です。市内外からの来館者に防災学習体験プログラムを提供します。



そのほかの震災伝承施設

- 大船渡市 15 大船渡市民体育館前屋外時計
- 大船渡市 16 潮目
- 大船渡市 17 茶々丸パーク時計塔
- 大船渡市 18 夢海公園
- 久慈市 19 ケルン・鎮魂の鐘と光
- 普代村 20 故和村幸得元普代村長顕彰碑
- 普代村 21 太田名部防潮堤
- 普代村 22 普代水門
- 野田村 23 米田歩道橋の一部 ほか



大槌町文化交流センター おしゃっち

古里の暮らし、自然の紹介、復興の過程(震災を含む)を掲示しているほか、震災から7年間の復興の過程をまとめたガイダンス映像(18分)を鑑賞できます。また、津波による犠牲者621名の生前の様子や被災状況をまとめた「生きた証回顧録」を展示しています。



震災遺構 明戸海岸防潮堤

津波によって決壊した防潮堤が、被災当時の姿のままに保存されています。遺構施設や周辺の被災エリアでは、地元住民ガイドが津波体験の語り部(ガイド)プログラムを提供しています。



島越ふれあい公園

東日本大震災の津波により、流失した旧島越駅舎跡地に整備された復興公園。津波に耐えた宮沢賢治の詩碑が、被災当時の姿のまま佇んでおり、津波の脅威を伝えています。



羅賀ふれあい公園

明治29年の明治三陸大津波により打ち上げられた津波石、昭和8年の昭和三陸大津波の教訓を伝える石碑など、津波の脅威や教訓を伝えています。

高田松原津波復興祈念公園



かつて、気仙川の河口から広田湾に沿って続く弓形の砂浜沿いには、国の名勝である高田松原がありました。その白砂青松の景観は、観光地としてにぎわうとともに、夏には岩手県を代表する海水浴場として多くの人々に利用されてきました。

しかし、東日本大震災の際の津波により、陸前高田市は岩手県内で最大の被災地となるとともに、高田松原の砂州と松はほぼすべて消失するという甚大な被害を受けました。

その後、国、岩手県及び陸前高田市が連携し、この地区に東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂や日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的とした復興の象徴となる「高田松原津波復興祈念公園」を整備することとなりました。

公園内に残る震災遺構



奇跡の一本松・陸前 道の駅高田松原 気仙中学校 下宿定住促進住宅
高田ユースホステル タビック45

『いわてTSUNAMIメモリアル』 2019年9月開館



岩手県では、陸前高田市で整備が進む高田松原津波復興祈念公園内に東日本大震災津波伝承館(愛称:「いわてTSUNAMIメモリアル」)を整備しています。

この施設は、東日本大震災津波の悲劇を繰り返さないため、震災の事実と教訓を後世に伝承するとともに、復興の姿を国内外の人々に発信することを目的とするものです。

館内では、三陸の津波災害の歴史や、東日本大震災津波の事実、震災から得た教訓などを学ぶことができる映像上映や展示などを行う予定であり、無料で見学することができます。



世界遺産・橋野鉄鉱山

近代製鉄の父といわれる大島高任の技術指導のもとに建設された、現存する日本最古の洋式高炉跡3基をはじめ、当時の水路、水車跡地等を見学できます。☎0193-54-5250

橋野鉄鉱山 インフォメーションセンター

☎0193-54-5250
交通 JR・三陸鉄道釜石駅から車で約40分
休館 冬期休館(12/9～3/31)



車で約45分



車で約2分



車で約15分



車で約8分



車で約2分

「鉄のまち」釜石を知る



車で約15分



車で約8分

車で約2分

道の駅釜石仙人峠

釜石の特産品や土産物がそろった道の駅。地元釜石の藤勇醤油がほのかに香る「藤勇醤油ソフト」が一番人気です。

☎0193-27-8530



釜石市郷土資料館

鉄のまち釜石の象徴ともいえる橋野高炉の模型をはじめ指定文化財、写真、生活用具など約4千数の百点を展示。人々の暮らし、自然、文化、災害など7つのテーマに沿ってわかりやすく解説しています。

☎0193-22-2046

釜石市立鉄の歴史館

日本近代製鉄発祥の地、釜石の製鉄の歴史と鉄に関する産業博物館。世界遺産「橋野鉄鉱山」の高炉の原寸大の復元模型や、数々の貴重な歴史資料を見ることができます。

☎0193-24-2211

釜石大観音

鎌崎の先端に立つ高さ48.5mの白亜の大観音。海拔120mの魚籃展望台から、雄大な太平洋とリアス海岸のパノラマを眺望できます。「恋人の聖地」に認定されています。

☎0193-24-2125



かまいし まちめぐり

TRY! 07



世界遺産「橋野鉄鉱山」で鉄のまちの歴史を学ぶ。
世界三大漁場、三陸漁場の港町で、新鮮な三陸の幸に舌鼓を打つ。
「鉄と魚とラグビーのまち」かまいしを満喫する。
(一社)釜石観光物産協会 ☎0193-22-5835 <http://kamaishi-kankou.sakura.ne.jp/>



釜石駅

駅前広場には「復興の鐘」や「鉄のモニュメント」、近代製鉄の父といわれる大島高任の銅像が立っています。



JR釜石駅から
徒歩1分



JR釜石駅から
徒歩10分

サン・フィッシュ釜石

45年の長い歴史に幕を引いた橋上市場に代わって誕生したのが、「サン・フィッシュ釜石」です。1階は地元の旬をぎゅっと集めた市場、2階は団体休憩室や飲食店になっています。☎0193-31-3668
営業時間 1階 AM7:00～PM4:00
2階 AM11:30～PM10:00
定休日 水曜日
<http://sunfish-kamaishi.sakura.ne.jp/>

薬師公園

釜石の桜の名所薬師公園は、高台にあり、市街地と釜石湾を一望できます。園内には戦災者の霊を慰め、平和を祈って建てた平和女神像や、製鉄の発展に尽くした高橋亦助翁の顕徳碑があります。春には桜が咲き誇り、桜まつりが開催されます。



JR釜石駅から
徒歩1分

シープラザ釜石

最新の設備を導入した三陸の最新情報発信基地。特産品販売所、飲食店のほか、釜石ラグビーのV7から今日までの歴史を物語る貴重な資料等を展示している「釜石ラグビーカフェ」も館内に置かれています。☎0193-31-1177
営業時間 AM9:00～PM7:00 定休日 第1、3、5火曜日



JR釜石駅から
徒歩10分

タウンポート大町

イオンタウン釜石に隣接。飲食店や小売店などが元気に営業中！目の前のウッドデッキと芝生の広場が憩いの場として親しまれています。☎0193-22-3607(釜石まちづくり株式会社)



JR釜石駅から
徒歩10分

釜石漁火酒場 かまりば

釜石漁火酒場かまりばは、津波で被災した飲食店街の再建に向けた市有地活用事業として、2017年1月にオープンしました。営業店舗等の情報は釜石市HPをチェック！

かまりば



Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv,1953-2019 www.miffy.com

ミッフィーカフェかまいし

日本で唯一の常設ミッフィーカフェ。絵本の世界が広がる店内には愛らしいミッフィーがいっぱいです。釜石駅から魚河岸地区の約1.5kmにわたってミッフィーの道案内看板やプレートが設置されている「ミッフィーストリート」も必見。☎0193-55-6707

JR釜石駅から
徒歩10分



釜石鶴住居復興スタジアム周辺 うのすまい・トモス

2019年3月、鶴住居駅前エリア「うのすまい・トモス」に、東日本大震災犠牲者慰霊追悼施設「釜石祈りのパーク」、防災学習施設「いのちをつなぐ未来館」、観光交流拠点施設「鶴の郷交流館」がオープン。☎0193-27-5666(うのすまい・トモス事務局)



いのちをつなぐ未来館

東日本大震災の記録や、防災への取組などを学ぶことができる施設です。入館無料。



鶴の郷交流館

地元漁協直営の産直や食事処、土産品コーナーがあります。

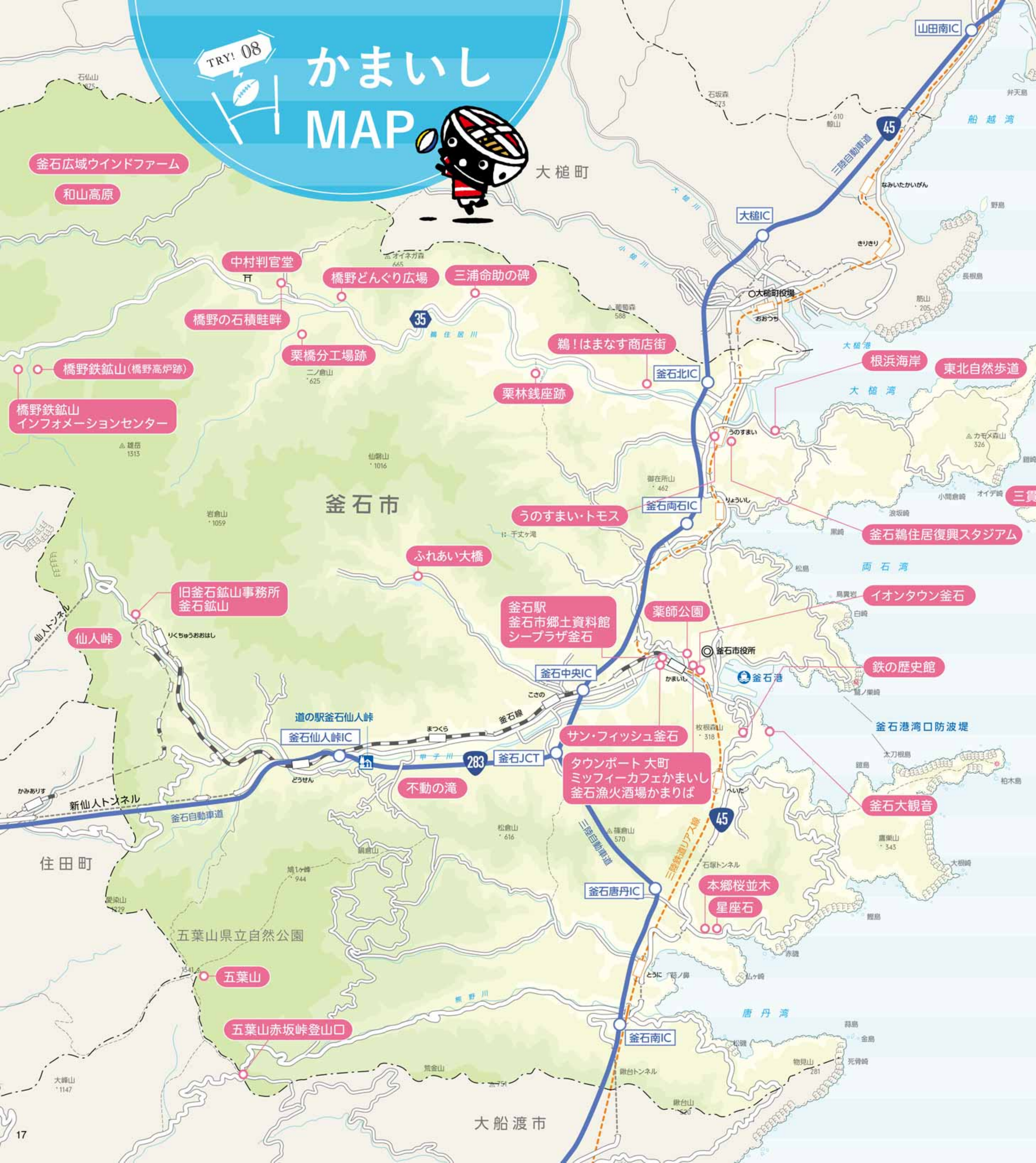
魚河岸にぎわい館「魚河岸テラス」

2019年4月オープン。魚市場に隣接し、釜石湾を一望できる広場、釜石の味覚を堪能できる飲食店や、郷土芸能や海に関する展示スペースなどがある、まちの新たな賑わい拠点です。☎0193-27-5566



かまいし MAP

TRY! 08



宿泊施設一覧

ホテルサンルート釜石	釜石市大町2-3-3	☎ 0193-24-3311
釜石ベイシティホテル	釜石市大町1-8-1	☎ 0193-22-6611
陸中海岸グランドホテル	釜石市港町1-2-3	☎ 0193-22-1211
ホテルマルエ	釜石市大渡町2-1-10	☎ 0193-24-3911
HOTEL ALICE GARDEN (ホテルアリスガーデン)	釜石市大渡町2-5-11	☎ 0193-27-5155
ホテルルートイン釜石	釜石市大町2-5-17	☎ 050-5847-7701
多田旅館	釜石市大町3-5-15	☎ 0193-22-3576
釜石パシオン	釜石市大只越町1-3-2	☎ 0193-24-3703
大渡パシオンwill	釜石市大渡町1-5-8	☎ 0193-22-5525
釜石ステーションホテル	釜石市鈴子町4-1	☎ 0193-22-3070
ホテルフォルクローロ三陸釜石	釜石市鈴子町22-4	☎ 0193-38-5536
高金旅館	釜石市鈴子町6-8	☎ 0193-22-4559
ホテルシーガリアマリン	釜石市平田3-61-22	☎ 0193-26-5111
平田パシオン	釜石市平田3-69	☎ 0193-26-6511
OYOホテル釜石鶴住居	釜石市鶴住居町3-9-15	☎ 0120-773-040 (予約センター)
宝来館	釜石市鶴住居町20-93-18	☎ 0193-28-2526
民宿前川	釜石市鶴住居町22-38-2	☎ 0193-28-3869
及川旅館	釜石市桜木町1-2-9	☎ 0193-23-5474
平治旅館	釜石市中裏町1-20-31	☎ 0193-23-5805
旅館なかむら	釜石市中裏町2-4-15	☎ 0193-23-7527
室浜の宿	釜石市片岸町10-110-1	☎ 0193-28-2315
大町パシオン	釜石市大町2-5-18	☎ 0193-22-4788

駅周辺MAP



県央 エリア

まちあるきが楽しい、風情豊かな城下町盛岡。
春の新緑から秋の紅葉シーズンまで自然散策、
ドライブが楽しい八幡平エリア。
個性豊かな温泉めぐりも楽しめます。

①八幡平 はちまんたい 八幡平市

雄大な大自然の中、ドライブ、トレッキングなどアウトドアを満喫できます。国内有数の紅葉の名所、見頃は9月下旬から10月上旬。個性豊かな温泉も数多くあります。 ☎ 0195-78-3500(八幡平市観光協会)



②小岩井農場 雫石町

しずくちゃん



③岩手銀行赤レンガ館 盛岡市

しわまるくん



県南 エリア

世界遺産のまち「平泉」、宮沢賢治の故郷「花巻」、
『遠野物語』の舞台「遠野」など、見どころが多いエリア。
花巻、一関、西和賀など温泉郷も数多くあります。

④狢鼻溪 げいびけい 一関市

高さ100mもの絶壁が続く狢鼻溪。船頭が囀うげいひ追分を聞きながら、約2キロの渓谷の舟下りをゆったりと楽しめます。 ☎ 0191-47-2341(げいび観光センター)



⑤遠野ふるさと村 遠野市

カリンちゃん



田んぼや水車小屋、南部曲り家など遠野の昔ながらの山里を再現した施設。さまざまな体験プログラムや、遠野の文化と伝統を守る「まぶりつと衆」との交流も楽しめます。 ☎ 0198-64-2300

宮沢賢治記念館



宮沢賢治童話村 花巻市

フラワーロールちゃん



⑥宮沢賢治記念館・宮沢賢治童話村

記念館では賢治の作品や世界観、生涯にわたる多彩な活動を紹介。童話村は賢治の童話世界を表現した施設で、「訪れてみたい日本のアニメ聖地88(2019年版)」に認定されています。 ☎ 0198-31-2319(宮沢賢治記念館) ☎ 0198-31-2211(宮沢賢治童話村)

岩手の 見どころ 観光地



⑦平庭高原 久慈市

アマリン



ひらにわこうげん
30万本以上の白樺が林立する日本一の白樺美林。新緑から紅葉と、四季を通じて楽しめます。紅葉の見頃は10月中旬～11月上旬。 ☎ 0194-72-2700(平庭山荘)

⑧御所野遺跡 一戸町

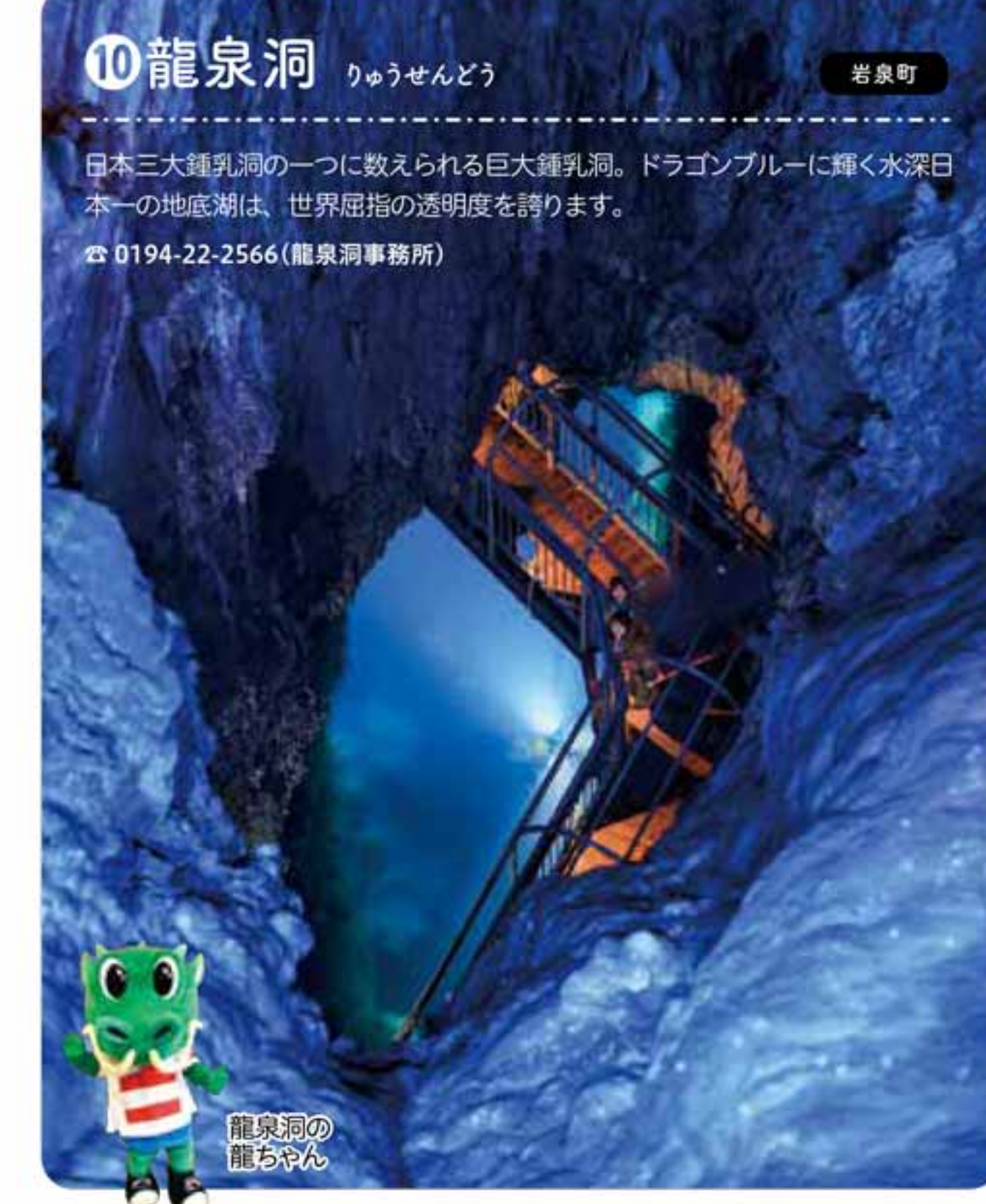
ごしょどん



ごしょのいせき
約4000年前の縄文時代中期の大規模集落跡。「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界遺産登録をめざして取組が進められています。 ☎ 0195-32-2652(御所野縄文博物館)

⑩龍泉洞 りゅうせんとう 岩泉町

龍泉洞の龍ちゃん



日本三大鍾乳洞の一つに数えられる巨大鍾乳洞。ドラゴンブルーに輝く水深日本一の地底湖は、世界屈指の透明度を誇ります。 ☎ 0194-22-2566(龍泉洞事務所)

県北 エリア

北三陸の変化に富んだ海岸や海食崖、
大地に眠る琥珀や恐竜の化石。日本一の漆の産地、
二戸市の浄法寺漆器。今も残る座敷わらし伝説など、
さまざまな見どころが点在しています。

⑨馬仙峡 ばせんきょう 二戸市

馬仙くん



日本一の大きさを誇る夫婦岩「男神岩」「女神岩」。紅葉の名所として知られ、10月中旬から11月上旬に見頃を迎えます。 ☎ 0195-23-3641(二戸市観光協会)

沿岸 エリア

北山崎、龍泉洞、浄土ヶ浜など
三陸ジオパークを代表する
海と山の見どころが続く、
三陸沿岸エリア。

⑪青の洞窟さっぱ船遊覧 宮古市

サーモンくん



⑫蓬萊島 大槌町

おおちゃん



ほうらいじま
大槌湾にぽっかりと浮かぶひょうたん型の島。NHK人形劇「ひょっこりひょうたん島」のモデルといわれています。 ☎ 0193-42-5121(大槌町観光交流協会)

岩手県内の観光のお問い合わせはこちら！
(公財)岩手県観光協会 <https://iwatetabi.jp/>

「いわて・かまいラグビー応援の店」
岩手・釜石に越しの皆様を笑顔でおもてなします！

ひとあし伸ばしてみませんか？
釜石鷗住居復興スタジアムから車で約35分！

世界遺産 釜石市
橋野鉄鉱山

盛岡藩生まれの大島高任が指導した、現存する日本最古の洋式高炉跡が見られる世界遺産。幕末から明治の日本の産業革命期の製鉄・製鋼分野における発展の礎を築いた施設で、当時使われた3基の高炉跡を見ることができます。☎0193-22-8846【釜石市世界遺産課】



世界遺産
橋野鉄鉱山シャトルバス
(現地ガイド付)

橋野鉄鉱山シャトルバスを運行しています。釜石駅から鷗住居駅を經由して橋野鉄鉱山を往復します。現地ガイドの説明を聞きながら、橋野鉄鉱山をめぐることができます。

2019年9月～11月の運行日
9月 1、7、8、14～16、21～26、28、29日
10月 5、6、12～14、19、20、26、27日
11月 2～4、9、10、16、17、23、24日
天候等の状況により運行を中止することがあります。お問合せ・ご予約は直接、運行会社へ。(岩手旅行社:☎0193-31-1300)

世界遺産「橋野鉄鉱山」を深く知るアプリが登場

- ・橋野鉄鉱山AR観光ガイドアプリ
スマホを高炉跡にかざすと、当時を再現した動画などがみられます。
- ・橋野鉄鉱山デジタルガイド
現地でアプリを利用すると、位置情報に合わせて音声解説が聞けるほか、高炉周辺では、操業当時の様子を再現した360度のパノラマ映像が見られます。

アプリを「Playストア」または「App Store」で検索
橋野鉄鉱山 検索

橋野鉄鉱山
インフォメーションセンター

橋野鉄鉱山について、映像とパネルでわかりやすく解説しています。音声ガイドマップ(日本語・英語・中国語・韓国語対応)や、現地ガイドによる案内があります。(いずれも有料) 入場無料、冬期休館(12/9～3/31)。☎0193-54-5250

いわてが誇る ユネスコ無形文化遺産



ユネスコ無形文化遺産

はやちねかぐら
早池峰神楽

花巻市

500年以上の歴史を持つといわれる古い伝統神楽で、大償(おおつぐない)と岳(たけ)の二つの神楽座があります。山伏の祈禱が起源ともいわれ、演目は40以上ともいわれます。



ユネスコ無形文化遺産

よしほま
吉浜のスネカ

大船渡市

鬼のような異形の面をかぶり、わらみのをまとった「スネカ」が小正月(1月15日)の晩に家々を訪れ、怠け者や泣く子を戒めます。三陸沿岸に伝わる風習で、各地にさまざまな名称があります。



ユネスコ無形文化遺産

和食～一関のもち食文化～

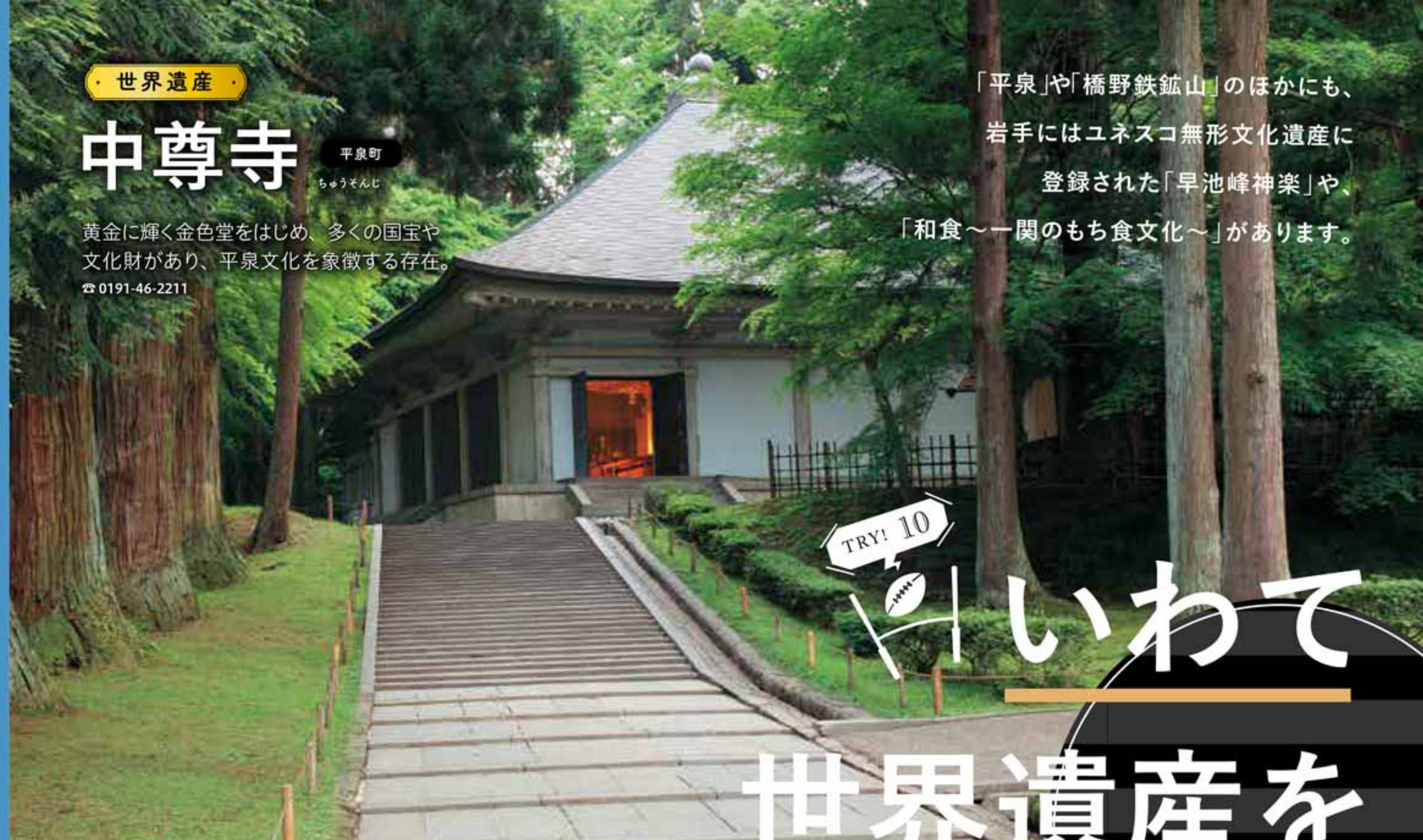
一関市

昔から良質なもち米が穫れた一関地方では、祝いの席や季節の行事で餅を食べる風習があります。2013年にユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」に「一関地方のもち食文化」として例示されています。

世界遺産
中尊寺

平泉町
ちゅうそんじ

黄金に輝く金色堂をはじめ、多くの国宝や文化財があり、平泉文化を象徴する存在。
☎0191-46-2211

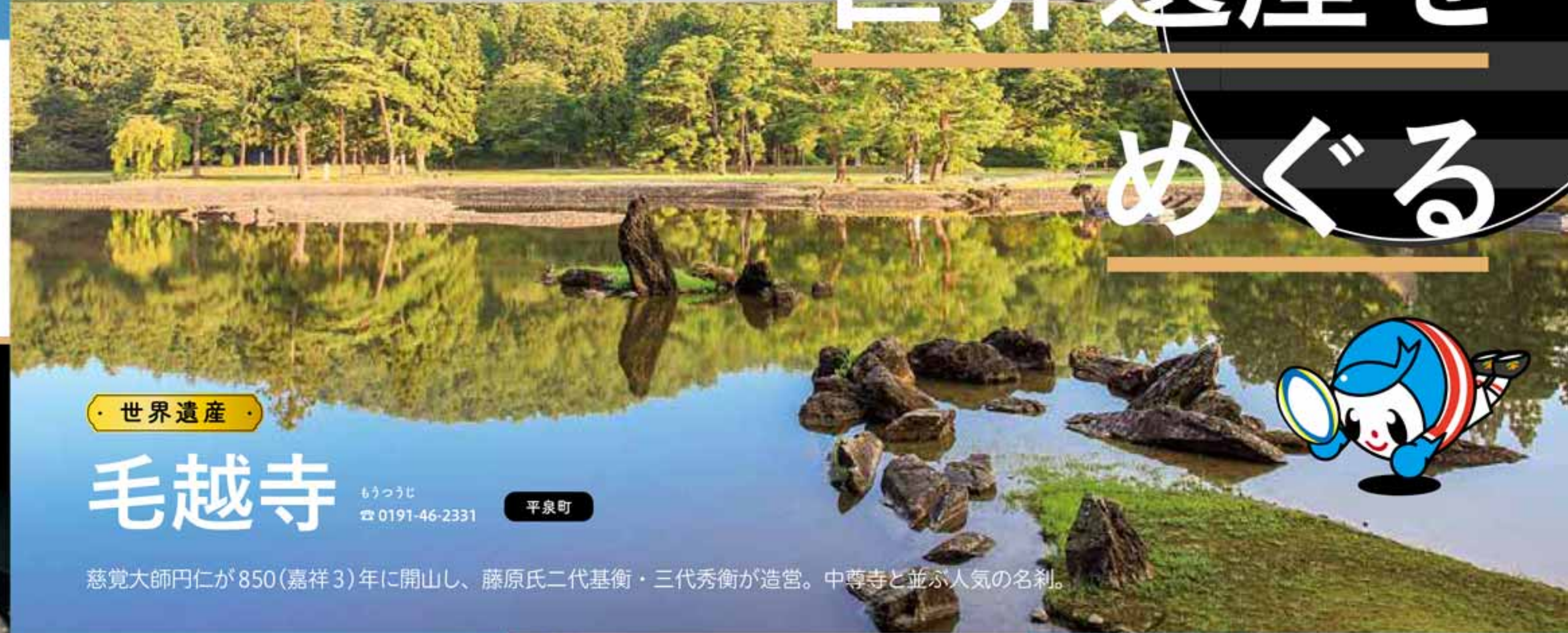


TRY! 10
いわて
世界遺産を
めぐる

世界遺産
毛越寺

もうつうじ
☎0191-46-2331 平泉町

慈覚大師円仁が850(嘉祥3)年に開山し、藤原氏二代基衡・三代秀衡が造営。中尊寺と並ぶ人気の名刹。



世界遺産
無量光院跡

平泉町

藤原氏三代秀衡が京都の平等院鳳凰堂を模して建立した寺院跡。現在は土塁、礎石、庭園跡が残るのみで、ひっそりと厳かな雰囲気漂っています。
☎0191-46-4012【平泉文化遺産センター】



世界遺産
観自在王院跡

平泉町

藤原氏二代基衡の妻が造営したと伝わる寺院跡。平安時代の庭園書『作庭記』の作法に基づいており、現在もほぼ完全な浄土庭園の遺構が見られ、憩いの場として整備されています。
☎0191-46-4012【平泉文化遺産センター】



世界遺産
金鶏山

平泉町

平泉を守るため雌雄一対の黄金の鶏を埋めたといわれる山。三代秀衡が北上川まで人夫を並べ、一晚で築いた造り山という伝説があります。
☎0191-46-4012【平泉文化遺産センター】



たねいちかいひんこうえん
種市海浜公園 洋野町
 ☎ 0194-65-5916(洋野町水産商工課)
 白い砂浜が広がる海洋公園。海水浴場、キャンプ場などが整備され、トレイルの休憩にも便利。

じょうどがはま
浄土ヶ浜 宮古市
 ☎ 0193-62-2111(宮古市観光課)
 「さながら極楽浄土のごとし」と謳われ、白浜に海の青、松林の緑が鮮やかなコントラストを織りなす、三陸ジオパークを代表するジオサイト。

みちのく潮風トレイル& 三陸ジオパークを歩いてみよう



きたやまざき
北山崎 田野畑村
 ☎ 0194-33-3248(田野畑村総合観光案内所)
 黒崎から弁天崎までの、約8kmにわたる断崖景勝地。断崖の高さは約200mにも及び、圧巻のスケールで迫ります。

らんぼうや・かみなりいわ
乱曝谷・雷岩 大船渡市
 ☎ 0192-29-2359(碓石海岸インフォメーションセンター)
 碓石海岸にある数10mの岩壁が向かい合う海の谷間「乱曝谷」。その眼下の「雷岩」と呼ばれる巨大な岩は、波の高い日には雷のような独特の音を響かせます。



三陸ジオパーク

みちのく潮風トレイル
 Michinoku Coastal Trail

トレイルマップの入手方法

岩手県内の配布施設

郵送での申し込み先
 〒981-1213 宮城県名取市関上5-300-31-1 みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター
 「みちのく潮風トレイルマップ郵送係」TEL 022-398-6181 FAX 022-398-6182 URL <http://tohoku.env.go.jp/mct/>

青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの3県16市町村にわたる日本最大のジオパーク。約5億年前からの地球規模の大地のなりたちや変遷を知り、体感すると共に、東日本大震災津波の記憶と教訓を後世に伝える防災学習フィールドとして活動しています。

東日本大震災からの復興のシンボルとして整備された、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸を結ぶロングトレイル。三陸ジオパークやリアス海岸の景勝地など、ダイナミックな海と山の見どころが数多くあります。

「みちのく潮風トレイル」では、各区間オリジナルのトレイルマップが用意されています。施設での配布、郵送での取寄せ、ホームページでの閲覧が可能です。

北山崎ビジターセンター、浄土ヶ浜ビジターセンター、碓石海岸インフォメーションセンター



せんじょうじき
千畳敷 釜石市
 ☎ 0193-22-5835(釜石観光総合案内所)
 箱崎半島の先端に位置する景勝地・御箱崎。その南側に、巨大な花崗岩の奇岩を敷きつめたような、広大な千畳敷が広がります。

夏油高原温泉郷

げとうこうげんおんせんきょう
☎ 0197-65-0300(北上観光コンベンション協会)

北上市

夏油高原に広がる温泉地で、ふもとから山あいにかけて日帰り湯や湯治場などの宿泊施設が点在しています。

元湯夏油(大湯) 泉質*ナトリウム・カルシウム塩化物泉 効能*切り傷・やけど・慢性皮膚病・虚弱児童・慢性婦人病など



侍の湯 おほない旅館
泉質*弱アルカリ単純泉
効能*アトピー性皮膚病、リウマチなど



ホテル対馬閣
泉質*ナトリウム・硫酸塩・塩化物泉(低張性アルカリ性高温泉)
効能*切り傷、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病など



探湯温泉かみくら
泉質*ナトリウム・カルシウム・硫酸塩泉(低張性アルカリ性高温泉)
効能*神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺など



休暇村岩手網張温泉
泉質*単純硫酸泉
効能*病後回復、冷え性、糖尿病、消化器病など



松川荘
泉質*単純硫酸水素泉
効能*神経痛、リウマチ、皮膚病、アトピー、痛風、便秘症など



ホテル紫苑
泉質*アルカリ性単純硫酸温泉(低張性アルカリ性高温泉)
効能*神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺など

金田一温泉郷

二戸市

盛岡藩の湯治場であったことから「侍の湯」とも呼ばれる温泉郷。座敷わらし伝説の地でもあり、多くの著名人も訪れています。

☎ 0195-27-2540(二戸市観光協会 金田一支部)

湯田温泉峡

西和賀町

明治の俳聖正岡子規が泊まった湯本温泉、開湯900年と伝わる湯量が豊富な湯川温泉のほか、砂風呂なども人気。

☎ 0197-81-1135(西和賀町観光協会)

一関温泉郷

一関市

一関市内から須川高原へ向かう道沿いに山王山温泉や厳美渓温泉、神々の隠し湯と呼ばれる祭時温泉など泉質の異なる温泉宿が点在。

☎ 0191-23-2350(一関市観光協会)

網張温泉

雫石町

1300年の名湯といわれます。雫石盆地を眺望する岩手山麓にあり、夏は岩手山登山、冬はスキー客でにぎわいます。

☎ 019-693-2211(休暇村岩手網張温泉)

松川温泉

八幡平市

松川渓谷沿いの原生林の中、源泉かけ流しの温泉宿が点在。周辺に立ちこめる硫黄臭が、秘湯ムードをかき立てます。

☎ 0195-78-3500(八幡平市観光協会)

つなぎ温泉

盛岡市

御所湖に面して温泉宿が立ち並び盛岡の奥座敷。天然の保湿成分メタケイ酸を含むお湯で、お肌にも優しい泉質が特徴。

☎ 019-689-2109(つなぎ温泉観光協会)

ためしてみよう! 上手な温泉の入り方

その1 入浴前のかけ湯で体を慣らし体の汚れを落としてから浴槽へ。

その2 成分や刺激の強いお湯に入るときは、肌をゴシゴシこすらないように。

その3 酸性泉、硫黄泉の場合は水道のお湯で上がり湯をしましょう。



大船渡温泉

大船渡市

大船渡湾を一望する開放感あふれる宿。太平洋を望む展望大浴場と、漁師のオーナーが厳選した海の幸が楽しめます。☎ 0192-26-1717



ホテル羅賀荘

田野畑村

北山崎で知られる田野畑村にある観光ホテル。ガラス張りの展望風呂から、太平洋の漁火や昇る朝日を眺められます。☎ 0194-33-2611



国民宿舎えぼし荘

野田村

全客室から太平洋を眺めることができる宿。奇岩・えぼし岩で知られる野田村の海岸線を望むロケーションも魅力。☎ 0194-78-2225



鶯宿温泉

雫石町

開湯450余年の、豊富な湯量を誇る温泉郷。周辺に小岩井農場など多くの観光スポットがあります。☎ 019-695-2209(鶯宿温泉観光協会)



新安比温泉

八幡平市

日本でも珍しい強塩泉で、海水の約2倍という塩分濃度のお湯を求めて各地から入浴客が訪れます。☎ 0195-72-2110

TRY! 12

絶景を楽しむ

名湯巡り



開湯千年の歴史ある温泉や、景色自慢、泉質自慢の名湯がそろった岩手県。個性豊かな温泉地で湯めぐりを満喫しましょう。



盛岡三大麺

盛岡市

盛岡の文化として定着した「盛岡三大麺」。小分けした一口そばの杯数を競うわんこそば、牛骨スープとほどよい辛味の盛岡冷麺、肉味噌をたっぷり絡め食す盛岡じゃじゃ麺。いずれも盛岡のソウルフードです。



わんこそば



盛岡冷麺



盛岡じゃじゃ麺



マツタケ

豊かな森林に恵まれたいわては、風味・香り・形の三拍子そろった最高級まつたけの産地として知られています。



原木しいたけ

生しいたけ、乾しいたけともに全国トップクラスの生産量を誇る岩手県。肉厚で食感があり、豊かな味と香りが楽しめます。



りんご

冷涼で寒暖差が大きく、りんご栽培に適した気候に恵まれ、奥州市「江刺りんご」をはじめ県内各地で高品質なりんごが作られています。



岩手くずまきワイン

葛巻町

平庭高原の美しい自然に囲まれたワイナリー。山ぶどうにこだわりをもつワインが人気です。工場見学や試飲も可能です。

☎ 0195-66-3111



自園自醸ワイン紫波

紫波町

フルーツ名産地紫波町の農園で栽培されたぶどうを町内で醸造。工場では見学や試飲も楽しめます。

☎ 019-676-5301 (紫波フルーツパーク)



エーデルワイン

花巻市

ぶどうづくりに適した気候風土に恵まれた花巻市大迫の、50年以上の歴史あるワイナリー。工場見学や試飲も可能です。

☎ 0198-48-3200 (ワインシャトー大迫)



結の香

岩手県

日本最高級の酒米をめざし、大吟醸の酒造りに開発されたいわての酒米「結の香」。これを県内の複数の蔵元で仕込み、数量限定で販売。口に含むと、芳醇で上品な味わいが広がります。



餅御膳

もち食文化が根付く一関地方には、あんこ、ごま、ずんだ、納豆、沼エビなど伝統的なもち料理をはじめ、300種類ものもちの食べ方があるといわれています。



ひつつみ

小麦粉を水でこねて手でちぎり、鶏肉、根菜、きのこなどをしょうゆ汁に入れて煮込んだ料理。心も体も温まるいわてのふるさとの味です。



まめぶ汁

連続テレビ小説で一躍有名になった久慈市山形町の郷土料理。クルミと黒砂糖を包んだ団子「まめぶ」を、野菜を入れたしょうゆ汁で煮込んで食べます。

いわてのグルメ

TRY! 13

豊かな幸をもたらす世界三大漁場・三陸の魚介、旨みあふれるブランド肉。いわてで上質な「うまい」が待っています。



いわて短角牛

日本短角種の生産日本一を誇る岩手県。ヘルシーな赤身肉のかみしめる食感と肉の旨さが特徴で、かむほどに肉本来の美味しさが広がります。



いわて牛

豊かな大自然と肉牛産地としての伝統に育まれ、生まれたいわて牛。肉の旨みと脂の甘さのバランスが絶妙で、きめ細やかな霜降りが特徴です。一度味わうと、その美味しさにやみつきになります。



サンマ ・三陸沖で水揚げされた、脂ののったサンマはみずみずしく、濃厚な味わいです。
ホヤ ・「南部もぐり」による天然ホヤ漁が有名。新鮮なホヤの刺身は酒の肴にもぴったり。
ホタテ ・かむほどに上質な甘みと旨みが口に広がる、ふっくらと大きく育った貝柱が特徴。



いわて純情米

岩手県産米の最高級品種「金色の風」はふわりとした食感と豊かな甘みが特徴。「銀河のしずく」は炊きあがりの白さとさらやかな食感、ほのかな甘みが楽しめます。



こんじきのかぜ 「金色の風」



ぎんがのしずく 「銀河のしずく」



Beautiful

全国の伝統的工芸品が大集合!



入場
無料

想いをつなぎ、技を伝える。

KOUGEI EXPO IN IWATE

第36回 伝統的工芸品月間国民会議全国大会



令和元年 11月3日(日)~5日(火) 岩手産業文化センター アピオ 10:00-17:00 (5日は16:00終了)

主催 伝統的工芸品月間推進会議・(一財)伝統的工芸品産業振興協会・日本伝統工芸士会・岩手県伝統的工芸品月間推進協議会
 後援(予定) 経済産業省 ほか
 事務局 岩手県商工労働観光部産業経済交流課 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号 TEL:019-629-5535

岩手県の伝統的工芸品

❖ 南部鉄器

南部鉄器は、鉄銑を主原料として造られます。その魅力は質実剛健、そして素朴で深みのある味わいにあります。仕上げに漆を塗ることで錆止めにもなり、鉄の素材を柔らかに活かす独特の意匠は、南部鉄器ならではの表情を創り出しています。



〈沿革・歴史〉



南部鉄器の産地は盛岡市と奥州市。盛岡の鉄器は17世紀初め、南部藩主が京都から釜師を召し抱え茶の湯釜を造らせたのが始まりとされ、奥州の鉄器は、平安時代末期、藤原清衡が近江国から鉄器職人を招き、武器等を作らせたのが始まりとされています。近年では海外でも人気で、2010年には上海万国博覧会にも出展しました。

❖ 秀衡塗

栃、樺などから形づくられ漆の衣で仕立て上げられる秀衡塗。独特の雲形と金箔が織りなす煌びやかな表情は、古来より受け継がれてきた伝承の技の賜です。木地を生漆で固め、下塗・中塗・上塗ののち、雲形の文様を描き金箔をのせ、上絵をつけて仕上げます。



〈沿革・歴史〉



秀衡塗は平泉に栄華を極め、世界遺産・中尊寺金色堂をはじめとする仏教美術を築いた奥州藤原氏が起源です。藤原氏滅亡後、江戸時代後期からは平泉隣の衣川で産地が形成され昭和に至ったとされます。近年では、ふだん使いに取り入れやすいシンプルな塗のものや、金箔と漆絵の技術を生かしつつ、かわいらしくアレンジした小物なども製作されています。

❖ 岩谷堂筆筒

桐、樺などの良質な素材から生み出される岩谷堂筆筒。天然無垢材ならではの美しい木目、華麗で豪快な手掘りの金具、重厚な漆塗りが特徴です。その独特な金具と漆使いは年月が経つにつれて深い輝きを見せます。



〈沿革・歴史〉



18世紀後半、当時の岩谷堂城主の岩城村主が、木工品制作を奨励したのが始まりと伝えられます。戦後の生活様式の変化や安価な大量生産品の流通に押され、生産量は平成9年をピークに低迷を続けていますが、近年では、ふだん使いに取り入れやすい筆筒製作の技術を生かした小物も製作しており、その受注量は徐々に伸びています。

❖ 浄法寺塗

漆のしっとりとした、あたたかみのある質感や深みのある艶を最大限に引き出すため、無地の朱・黒・溜による光沢をおさえた仕上げとなっています。シンプルで使いやすいデザインは、ふだん使いの器にぴったりです。



〈沿革・歴史〉



開山約1200年の歴史を持つ二戸市浄法寺町天台寺で、僧侶が寺の什器を作ったのが始まりとされます。江戸時代には、藩内は元より他藩へも盛んに移出する程重要な産物になりました。その後衰退しましたが、近年再び脚光を浴び人気を集めています。また、二戸市浄法寺町は国内随一の生漆の産地でもあり、国産漆の約7割を生産しています。漆掻き技術の伝承も重要な課題です。

KOUGEI EXPO IN IWATE

第36回 伝統的工芸品月間国民会議全国大会

岩手の伝統的工芸品をはじめとする岩手県内の工芸品のほか、全国から伝統的工芸品が勢ぞろい! 匠の技の実演や展示販売を行います。日本の美が一堂に集結するイベントをぜひお楽しみに!!

イベント詳細はホームページにて随時更新!
<http://kougei-expo.com>



KOUGEI EXPO 検索



北海道 Hokkaido

日本新三大夜景都市に選ばれた夜景
Chosen as one of the top three night views in Japan.



札幌の夜景 Sapporo Night View

札幌の夜景は、2018年10月に行われた「夜景サミット2018 in 札幌」において、2015年に引き続き「日本新三大夜景都市」に再認定されました。標高の異なる夜景視点が豊富にあることが評価されています。

The Sapporo night view was recertified as one of the "Top Three Night Views in Japan" at the 2018 Night View Summit in Sapporo, held in October 2018, following their 2015 certification. It is renowned for its wealth of different elevations from which to view the nightscape.

新千歳空港から鉄道(JR)で札幌駅まで約40分
About 40 minutes by train from New Chitose Airport to Sapporo Station.

☎ 011-213-5088(北海道さっぽろ観光案内所)

青森県 Aomori Prefecture

ミシュランにも選ばれた東北随一の景勝地
The premier scenic area of Tohoku, chosen by Michelin.



奥入瀬溪流 Oirase Gorge

ミシュラン・グリーンガイドで二つ星に選ばれた東北随一の観光名所。約14km続く溪流は、どこを歩いても絶景の連続。

The premier scenic spot in Tohoku, given two stars by the Michelin Green Guide. Stretching for 14 kilometers, this gorge offers spectacular views everywhere you walk.

青森駅、三沢駅、八戸駅からJRバス「十和田湖休屋行き」
JR Bus bound for Towada-ko Yasumiya from Aomori Station, Misawa Station, and Hachinohe Station

☎ 0176-75-2425(十和田湖国立公園協会)

宮城県 Miyagi Prefecture

美しい庭園が見られる縁結びの寺
A match-making temple with a beautiful garden



円通院 Entsu-in Temple

「縁結びの寺」「紅葉の名所」として多くの人が訪れる円通院。日本三景の一つに数えられる松島にあり、瑞巖寺に隣接しています。

Many visitors come to Entsu-in Temple, famous as both a match-making temple and as a place to view autumn leaves. Located in Matsushima, one of the top three scenic spots in Japan, next to Zuiganji Temple.

JR仙石線・松島海岸駅から徒歩約5分
三陸自動車道松島海岸ICより国道45号線経由で約5分
5 min on foot from Matsushima-Kaigan Station on the JR Senseki Line
5 min from Sanriku Expressway Matsushima-Kaigan IC vis National Route 45

☎ 022-354-3206(松島円通院)

岩手からひとあしのばしてみよう! Just a Hop, Skip, and a Jump Away From Iwate!

秋田県 Akita Prefecture

「みちのくの小京都」でタイムスリップ!
Travel through time at the Little Kyoto of Michinoku!



角館武家屋敷 Kakunodate Samurai Residence

半径2kmほどの範囲に、武家屋敷をはじめとした古くからの建造物が数多く現存。日本情緒漂う街並みを着物で歩けばタイムスリップした気分を味わえます。

In an area with a radius of nearly 2 kilometers stand many old buildings, including many samurai residences. Feel as though you've gone backward in time as you don a kimono and walk through these Japanese-style streets.

JR角館駅より徒歩約15分
15 min on foot from JR Kakunodate Station
☎ 0187-54-2700(仙北市観光情報センター)

山形県 Yamagata Prefecture

俳聖が名句を詠んだ、天空の古刹
An ancient temple in the sky told of in a famous haiku poem



山寺(宝珠山立石寺) Yama-Dera Temple (Rishshakuji Temple)

奇岩怪石からなる山全体が修行と信仰の場になっており、登山口から大仏殿のある奥之院まで1時間ほどの道のりのそこかしこが、絶佳の景観。

Made from strange rock formations, this entire mountain is a place of worship, with incredible views everywhere you look along the one-hour trek from the trail head to the Buddhist shrine of Oku-no-In.

JR山寺駅より登山口まで徒歩5分
5 min to the trail head from JR Yamadera Station
☎ 023-695-2816(山寺観光協会)

福島県 Fukushima Prefecture

湖沼群が作りだす神秘的な世界
A mystical world formed by lakes



五色沼 Goshiki-Numa Marsh

磐梯山の爆発により生まれた湖沼群で、見る角度によってさまざまな色になることから「五色沼」と呼ばれます。2016年にはミシュラン・グリーンガイドの1つ星を獲得。

Formed from the eruption of Mount Bandai, these lakes are called "Goshiki-Numa" (Five-Colored Marsh) due to the different colors that appear depending on the angle they are viewed at. The area received one star in the 2016 Michelin Green Guide.

「五色沼入口」バス停下車
Get off at Goshikinuma Iriguchi Bus Stop
☎ 0241-32-2349(裏磐梯観光協会)

アクセスガイド

ACCESS GUIDE



飛行機 By Air

新千歳空港(札幌) New Chitose Airport (Sapporo)	約1時間 About 1 hr	いわて 花巻空港 Iwate Hanamaki Airport
名古屋空港(名古屋) Nagoya Airport (Nagoya)	約1時間10分 About 1 hr 10 min	
伊丹空港(大阪) Itami Airport (Osaka)	約1時間25分 About 1 hr 25 min	
福岡空港(福岡) Fukuoka Airport (Fukuoka)	約2時間 About 2 hrs	

東北新幹線 Tohoku Shinkansen Line

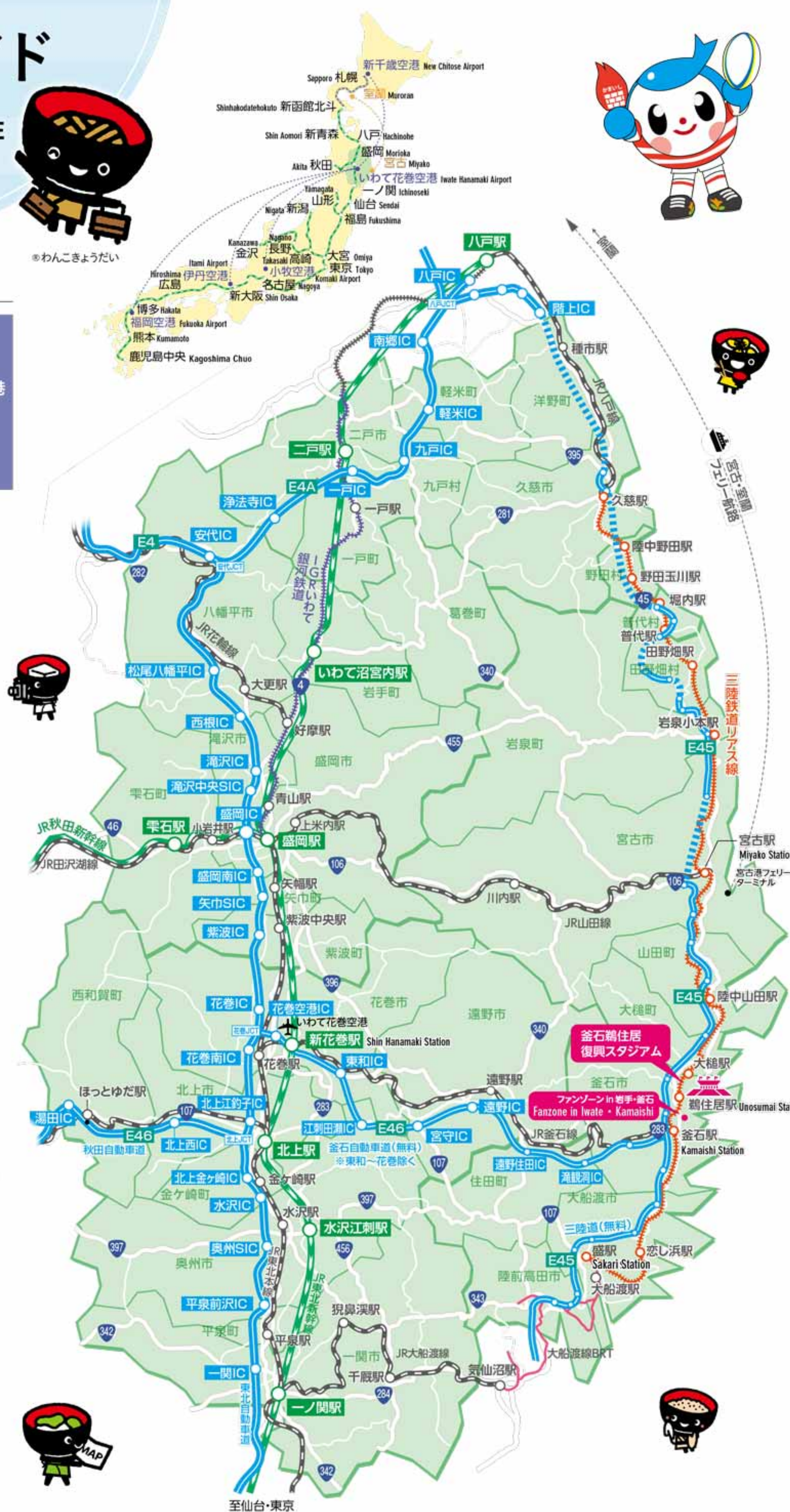
東京駅 Tokyo Station	約2時間30分 About 2 hr 30 min	新花巻駅 Shin Hanamaki Station
仙台駅 Sendai Station	約1時間 About 1 hr	
新青森駅 (盛岡駅乗り換え) Shin Aomori Station (Change at Morioka Station)	約1時間30分 About 1 hr 30 min	

在来線 Conventional Train

釜石線 Kamaishi Line		
新花巻駅 Shin Hanamaki Station	約1時間34分 About 1 hr 34 min	釜石駅 Kamaishi Station
三陸鉄道リアス線 Sanriku Railway Rias Line		
盛岡(大船渡) Sakai Station (Ofunato)	約50分 About 50 min	釜石駅 Kamaishi Station
宮古駅 Miyako Station	約1時間25分 About 1 hr 25 min	

自動車 By Car

仙台 Sendai	約3時間 About 3 hrs	釜石 Kamaishi
青森 Aomori	約3時間43分 About 3 hrs 43 min	
秋田 Akita	約3時間13分 About 3 hrs 13 min	
盛岡 Morioka	約1時間54分 About 1 hr 54 min	
花巻 Hanamaki	約1時間23分 About 1 hr 23 min	
北上 Kitakami	約1時間22分 About 1 hr 22 min	
奥州 Oshu	約1時間38分 About 1 hr 38 min	
一関 Ichinoseki	約2時間 About 2 hrs	
宮古 Miyako	約50分 About 50 min	
大船渡 Ofunato	約42分 About 42 min	



※いずれも2019年6月末時点。目安の所要時間となりますので、時間に余裕を持ってご移動ください。
※All information is as of June 2019. Travel times are approximate, so be sure to give yourself extra time to travel.

Traditional Crafts of Iwate

❖ Nanbu Ironware

Nanbu Ironware is made mainly with pig iron. With their characteristic simple yet strong craftwork, they're also known for their rustic and profound charm. The works feature a lacquered finish that prevents rust, and unique designs that subtly take advantage of the iron material, making for ironware that certainly stands out.



History & Development



Nanbu Ironware is produced throughout the cities of Morioka, and Oshu. Morioka ironware products are said to have been first produced during the early 17th century, when a lord of the Nanbu Clan invited a master artisan from Kyoto to Morioka, and requested that he make kettles for tea. Oshu ironware products are considered to have made their beginnings in armor-crafting and other trades, toward the end of the Heian period, when Fujiwara no Kiyohira invited ironworkers from the Omi Province. In recent years, the products have become popular even overseas, and were exhibited at the Expo 2010 in Shanghai.

❖ Iwayado Chests

Iwayado Chests are made from kiri, keyaki, and other high quality materials. Featuring beautiful wood grain unique to natural solid wood, magnificent and dazzling hand-refined metal fittings, and thickly coated lacquer. The use of unique metal fittings and lacquer work provides for a brilliance that will grow deeper as the years go by.



History & Development



This craft is said to have begun during the late 18th century, when the lord of Iwayado Castle, Muramasa Iwaki started encouraging the development of woodworking industries. Since then, cheap mass-produced products came into circulation along with post-war lifestyle changes, and production volumes peaked in 1997 among continued stagnation, but order volumes have gradually increased over recent years along with the production of small everyday accessories that make use of the chest-crafting techniques.

❖ Hidehira Lacquerware

Hidehira Lacquerware is formed from tochinoki, keyaki, and other lacquered wood materials. Featuring uniquely gilded cloud-shaped patterns, Hidehira Lacquerware carries on a traditional technique passed down since ancient times that provides for resplendent expression. After applying an undercoat, second coat, and finishing coat to these lacquered wood products, cloud-shaped patterns and other figures are decorated with goldleaf, bringing the whole process to a beautiful finish.



History & Development



Hidehira Lacquerware flourished around Hiraizumi, and the craft's origins can be found with the Oshu Fujiwara Clan, who were responsible for the construction of the World Heritage Chusonji Konjiki-do (Golden Hall), among other Buddhist-based art. After the fall of Fujiwara in late Edo period, it is believed that production areas spread around the Koromo River nearby Hiraizumi, and continued on into Showa. In recent years, simple everyday lacquerware, as well as cute accessories continue to be made using the gilding and lacquering techniques.

❖ Joboji Lacquerware

Featuring a less polished finish in plain monochrome crimson, black, or tame (yellowish brown), bringing out the warmest textures and deepest glossing. Simple and easy-to-use designs that are perfect for everyday use.



History & Development



It is said that the birth of Joboji Lacquer was at the Tendajji Temple, a place with over 1,200 years of history in Joboji, Ninohe, where monks worked on producing their own utensils. During the Edo period, it quickly became an important product within the territory, so much so that it was actively exported to other provinces. The craft went out of fashion afterward, but has been placed in the limelight again in recent years as it regains popularity. Joboji, Ninohe is the country's leading producer of raw lacquer, accounting for approximately 70% of domestic production. Of course, the continued handing down of lacquering techniques is also considered an important topic.

KOUGEI EXPO IN IWATE

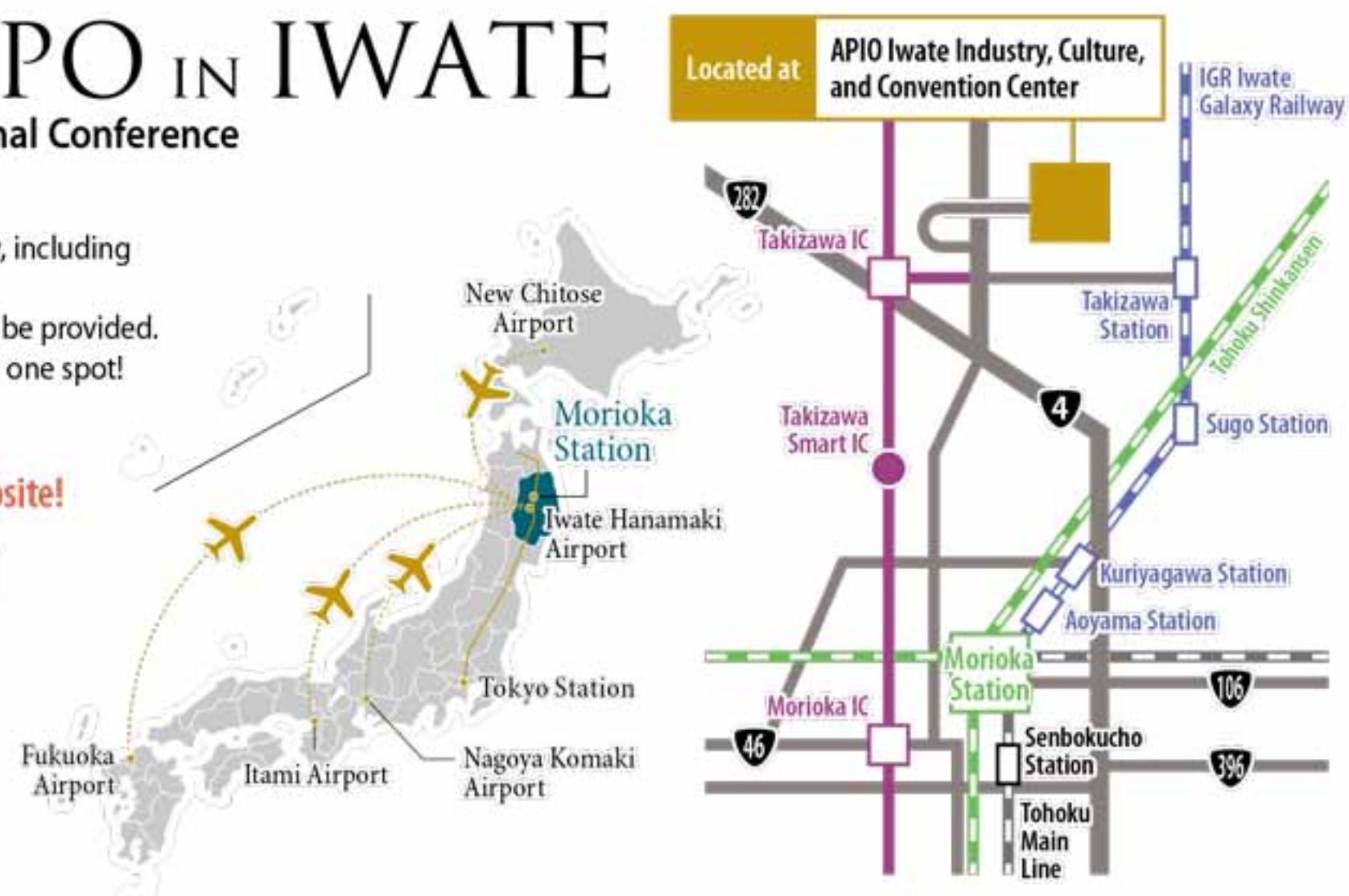
36th Traditional Crafts Month National Conference

A huge collection of traditional crafts from around the country, including crafts both traditional and otherwise, from Iwate! Craftsmanship demonstrations, exhibitions, and sales will also be provided. Come by and enjoy the gathering of the beauty of Japan, all in one spot!

For event details, check out our frequently updated website!
<http://kougei-expo.com>



KOUGEI EXPO Search



A huge collection of traditional crafts from around the country!



Free Admission

Connecting minds and passing on techniques.

KOUGEI EXPO IN IWATE

36th Traditional Crafts Month National Conference



Nov 3(sun) – 5(tue), 2019 APIO Iwate Industry, Culture, and Convention Center
10:00am – 5:00pm (closing 4:00pm on the 5th)

Sponsors: Traditional Crafts Month Promotion Council / Traditional Crafts and Industry Promotion Association / Japan Association of Traditional Craftsmen / Iwate Traditional Crafts Month Promotion Council
Support (Planned): Ministry of Economy, Trade and Industry, etc.
Office: Industrial and Economic Exchange Section, Department of Commerce, Labor and Tourism, Iwate Prefecture
10-1 Uchimarui, Morioka, Iwate 020-8570 TEL: 019-629-5535



Iwate Shorthorn Beef

Iwate boasts the highest production of Japanese shorthorn beef. Its meaty and chewy texture of a healthy lean meat gives you a more flavorful and tastier experience the more you chew on it.

TRY! 13

Juicy



Dining in Iwate

A high quality of local cuisine awaits you in Iwate such as the fresh seafood from Sanriku, one of the top three fishing grounds in the world, to the brand-name meat bursting with umami flavor.



Amazing

Iwate Beef

Iwate beef comes from cattle born and raised in Iwate, an area that is rich in nature and is known for its tradition of beef cattle production. This beef is characterized by its marbled texture and boasts an exquisite balance between umami flavor and sweet-tasting fat. Once you try it, you won't be able to stop.



Pacific Saury

Caught off the coasts of Sanriku, this fatty Pacific Saury is juicy and richly flavored.



Sea Pineapple

Wild sea pineapple fishing through "Nanbu diving" is famous here. A sashimi dish of this local favorite makes it a perfect accompaniment for sake.



Scallops

Characteristic for its large, plump adductor muscles, these scallops feature a sophisticated sweetness that melts in your mouth as you chew.



Iwate Junjyomai Rice

Konjiki no Kaze, the finest variety of rice from Iwate Prefecture, is characterized by its fluffy texture and rich sweetness. Enjoy also the whiteness, soft texture, and mild sweetness of freshly cooked Ginga no Shizuku rice.



Konjiki no Kaze



Ginga no Shizuku



Beautiful



Wanko Soba

Three Great Noodles of Morioka

The "Three Great Noodles of Morioka" have been established as a part of Morioka culture and have become the soul food of the city. Wanko soba, where people compete to see how many of the bite-sized soba bowls (wanko) they can eat; Morioka Reimen, made with beef bone soup and delightfully spicy seasoning; and Morioka Jajamen, mixed with plenty of nikumiso (ground meat, ginger, and other ingredients sauteed together and stewed in miso).



Morioka Reimen

Morioka Jajamen



Matsutake Mushrooms

Blessed with abundant forests, Iwate is famous for producing the finest matsutake in terms of flavor, fragrance, and shape.



Wood-Grown Shiitake Mushrooms

Iwate Prefecture boasts the top production in the nation for fresh and dried shiitake mushrooms. Enjoy the thick texture, rich flavor, and fragrance.



Apples

The cool climate with big differences in temperature makes the area suitable for apple growing, and high quality apples such as the Esashi Apple from the city of Oshu are produced all over the prefecture.



Iwate Kuzumaki Wine

A winery encompassed by the beautiful wilderness of the Hiraniwa Highlands. Wine made from crimson glory vine is popular. Winery tours and tastings are available. TEL 0195-66-3111



Shiwa Home-Grown, Home-Brewed Wine

Grapes grown in the fields of Shiwa, a town famous for its fruit, are then brewed in town. Enjoy tastings and a tour of the winery. TEL 019-676-5301 (Shiwa Fruits Park)



Edel Wein

A winery with a history of more than 50 years in Ohasama, Hanamaki, an area blessed with an ideal climate for growing grapes. Winery tours and tastings are available. TEL 0198-48-3200 (Wine Chateau Ohasama)



Yui no Ka

Yui no Ka is a sake rice developed for making daiginjo (top quality) sake that aims to be the best in Japan. It is purchased by several breweries within the prefecture and sold in limited quantities. Its full-bodied, sophisticated flavor spreads throughout the mouth.



Mochi Dining

In the Ichinoseki region, where mochi culture has taken root, there are said to be over 300 ways to eat mochi, starting with traditional mochi cuisine such as red bean paste, sesame, mashed edamame, natto, and marsh shrimp.



Hittsumi

A dish in which flour and water are kneaded together into a dough then hand-torn, later simmered in soy sauce with chicken, root vegetables, and mushrooms. This local Iwate food warms the body and the spirit.



Mamebu Soup

Local cuisine from the town of Yamagata in the city of Kuji that suddenly became famous when it was featured in a serial TV show. Mamebu, dumplings made with walnut and black sugar, are eaten after simmered in soy sauce with vegetables.

Geto Kogen Onsen Resort

Kitakami

This hot spring resort spreads across the Geto Kogen (Plateau) with various day spas and tojis (hot spring therapy) resorts placed throughout the foot and the solitudes of the mountain.
TEL 0197-65-0300 (Kitakami Tourism Convention Association)

Motoyu Geto (Oyu) Water quality: sodium, calcium chloride Relieves: Wounds, burns, chronic skin disease, weak children, chronic gynecological disease, and more.

Enjoy the Stunning View

TRY 12

Going around the hot onsen spots



Iwate Prefecture is home to many hot springs (onsen) with a thousand years of history, beautiful views, and various spring water qualities. Enjoy onsen hopping with each onsen facility's unique characteristics.

Hanamaki Onsen Resort

Hanamaki

Hanamaki City offers several hot spring facilities such as the Hanamaki Onsen Hotel, the Shidotaira Onsen Hotel, and the Namari Onsen Hotel. There are many ways to enjoy the resort, from a relaxing hotel experience to tojis (hot spring therapy) in a traditional atmosphere.
TEL 0198-29-4522 (Hanamaki Tourism Association)

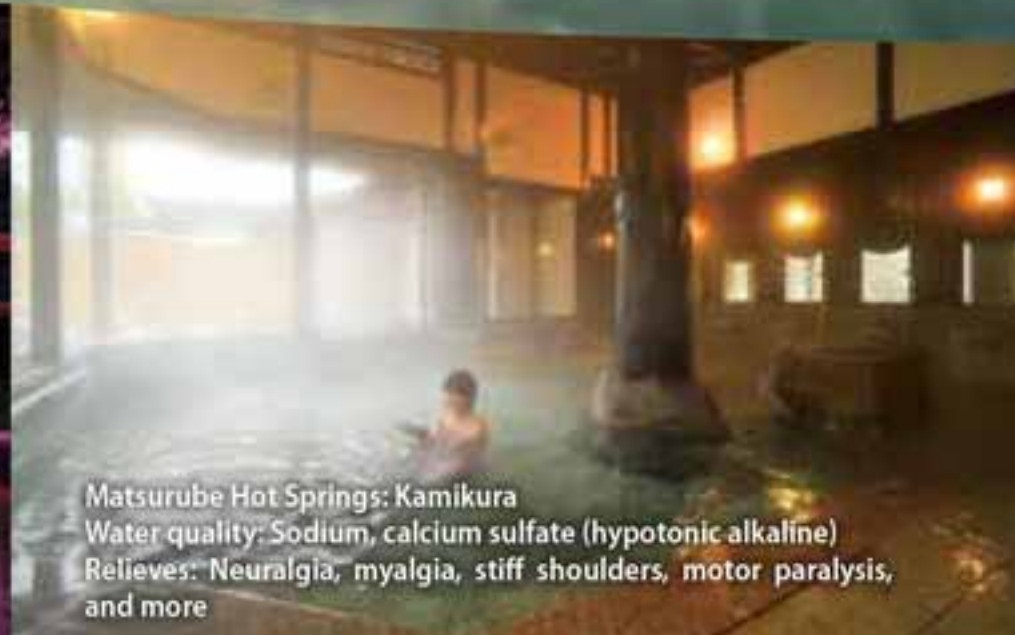
Osawa Onsen Water quality: Simple alkaline (hypotonic alkaline) Relieves: Neuralgia, myalgia, stiff shoulders, chronic digestive issues, and more



Samurai no Yu: Obonai Ryokan
Water quality: Simple weak alkaline spring
Relieves: atopic dermatitis, skin diseases, rheumatic diseases, etc



Hotel Tairyukaku
Water quality: Sodium, sulfate salt (hypotonic alkaline)
Relieves: Wounds, burns, chronic skin disease, chronic gynecological disease, and more



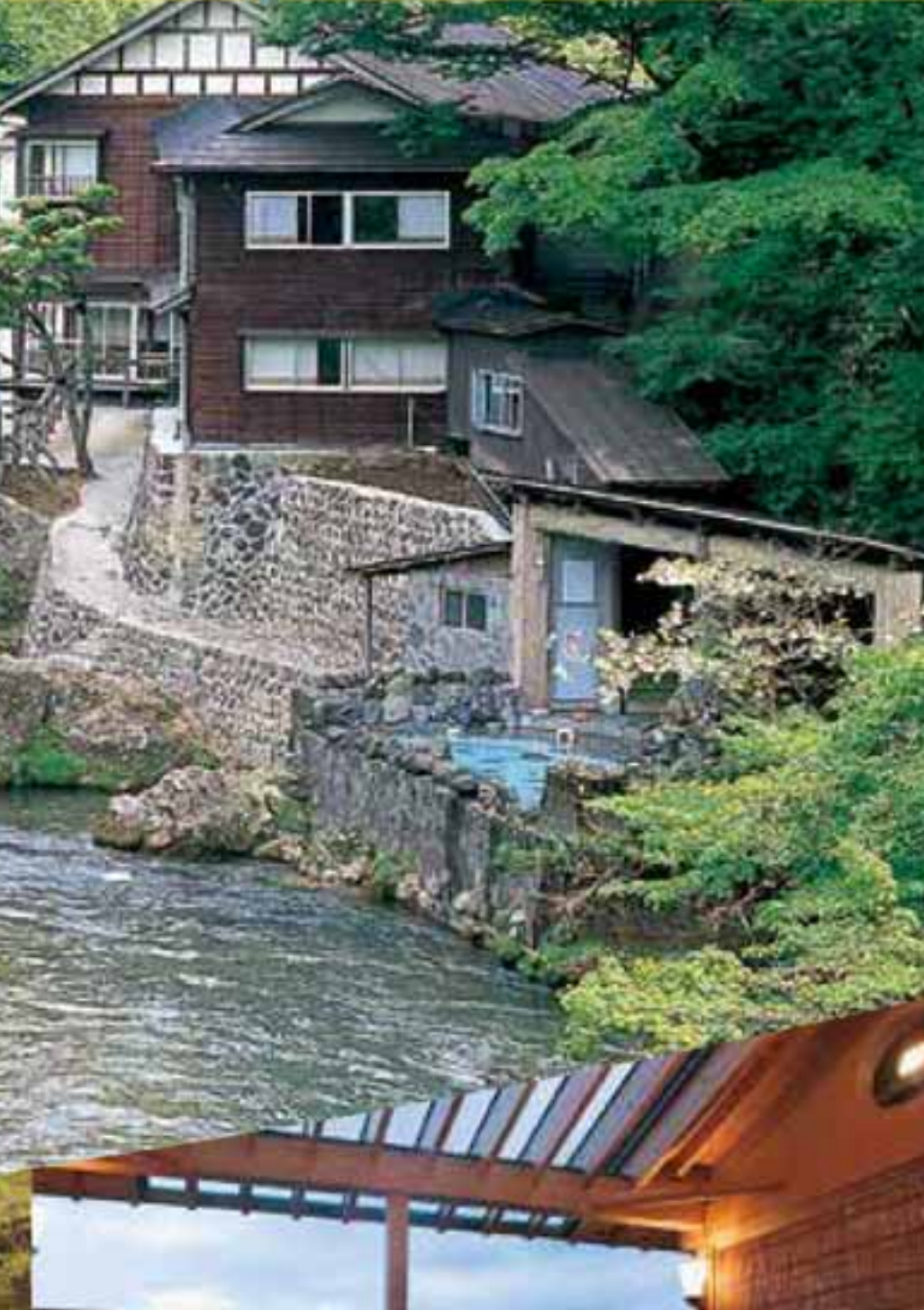
Matsurube Hot Springs: Kamikura
Water quality: Sodium, calcium sulfate (hypotonic alkaline)
Relieves: Neuralgia, myalgia, stiff shoulders, motor paralysis, and more



Kyukamura Iwate Amihari Onsen
Water quality: Simple sulfur
Relieves: Recuperation, cold sensitivity, diabetes, gastroenterological disease, and more



Matsukawa-Sou
Water quality: Simple hydrogen sulfide
Relieves: Neuralgia, rheumatism, skin disease, atopic dermatitis, gout, constipation, and more



Hotel Shion
Water quality: Simple sulfur alkaline (hypotonic alkaline)
Relieves: Neuralgia, myalgia, stiff shoulders, motor paralysis, and more

Kindaichi Onsen Resort

Ninohe

This resort area is also known as the "Samurai no Yu (Samurai's Hot Springs)" as it was used as a toji (hot spring therapy) for the samurai warriors of the Morioka domain back then. This is also where the famous legend of Zashiki Warashi lives therefore many celebrities have visited this resort for a variety of reasons.
TEL 0195-27-2540 (Ninohe Tourism Association Kindaichi Branch)

Yuda Onsen Village

Nishiwaga

In addition to the Yumoto Hot Springs where the Haiku legend Masaoka Shiki has stayed, the Yukawa Hot Springs is known for its 900 years of history, its rich volume of hot water, and the popular sand bath (where you are buried in the sand to sweat out all of your bodily impurities).
TEL 0197-81-1135 (Nishiwaga Tourism Association)

Ichinoseki Onsen Resort

Ichinoseki

The road from central Ichinoseki to the Sukawa Plateau is lined with different kinds of hot spring resorts, such as the Sannoyama Hot Springs, Genbikai Hot Springs, and one that is called the "Hidden Hot Spring of the Gods"; the Matsurube Hot Springs.
TEL 0191-23-2350 (Ichinoseki Tourism Association)

Amihari Onsen

Shizukuishi

A famous hot spring location said to be 1300 years old. Located in the foothills of Mount Iwate overlooking the Shizukuishi Basin, this area is teeming with mountain climbers in summer and skiers in winter.
TEL 019-693-2211 (Kyukamura Iwate Amihari Onsen)

Matsukawa Onsen

Hachimantai

The primeval forests along the Matsukawa Valley are dotted with hot spring inns with water direct from the source. The scent of sulfur shrouding the area creates the mood of a secluded hot spring.
TEL 0195-78-3500 (Hachimantai Tourism Association)

Tsunagi Onsen

Morioka

This is a historically deep hot spring location in Morioka, lined with onsen resorts facing Lake Goshou. Its waters contain metasilicic acid, a natural moisturizer, making it gentle on the skin.
TEL 019-689-2109 (Tsunagi Onsen Tourism Association)

Try It Out!

The Best Way to Bathe at Hot Springs (Onsen)

No. 1 Before entering the bath, wash yourself off with the hot spring water to acclimatize your body to the heat and to wash away any dirt.

No. 2 Do not rub your skin when bathing in a hot spring with irritating components.

No. 3 For acidic or sulfur springs, rinse yourself with hot water from the faucet once you are finished.



Ofunato Onsen

Ofunato

A spacious inn overlooking Ofunato Bay. Enjoy large public baths that offers views of the Pacific Ocean and seafood carefully selected by the fisherman owner.
TEL 0192-26-1717



Hotel Ragaso

Tanohata

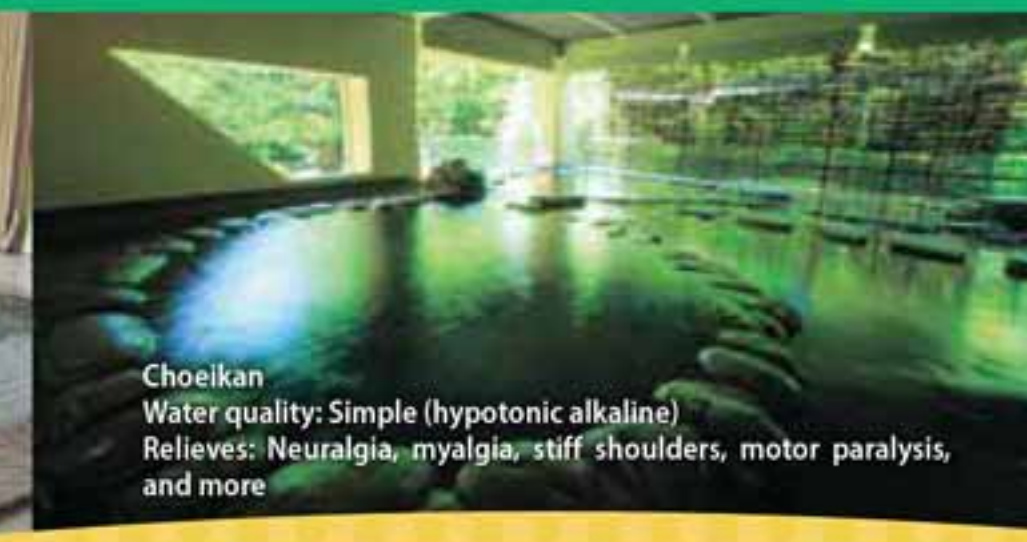
A tourist hotel located in the village of Tanohata, famous for Cape Kitayamazaki. Take in views of fishing fires on the Pacific Ocean and the rising sun from behind the glass walls of the open-air baths.
TEL 0194-33-2611



Eboshi-Sou

Noda

An inn offering views of the Pacific Ocean from all guest rooms. Part of its appeal is its location overlooking the coastline of Noda, which is famous for the Eboshi rock formation.
TEL 0194-78-2225



Oshuku Hot Spring

Shizukuishi

Open for more than 450 years, this hot spring resort boasts large amounts of water. There are also many sightseeing spots in the area, such as the Koiwai Farm.
TEL 019-695-2209 (Oshuku Hot Spring Tourism Association)



Shin-Appi Onsen

Hachimantai

Bathers come from all over to seek the highly salty water of this hot spring, which contains twice the salt content of sea water and is rare even in Japan.
TEL 0195-72-2110

Taneichi Marine Side Park

TEL 0194-65-5916 (Hirono Fishery Department) **Hirono**

A marine park where you can see a wide stretch of a white sandy beach. Aside from the beach, there is also a camp site, making it convenient to take a break during your hike/walk on the trail.

TRY! 11



Walk around the Michinoku Sanriku Geopark

Jodogahama **Miyako**

TEL 0193-62-2111 (Miyako Tourism Department)

Part of the Sanriku Geopark, locals often express this geosite as "resembling a Buddhist Pure Land (Gokuraku Jodo)", hence the name Jodogahama. The picturesque blue ocean with the white sand and the fresh green of the pine trees make up a stunning natural color contrast.



Kitayamazaki **Tanohata**

TEL 0194-33-3248 (Tanohata Tourist Information Center)

A popular 8km-long scenic spot from Kurosaki to Bentenzaki. The height of the cliff reaches up to about 200m and its sheer scale is simply impressive and breathtaking as you approach it from the sea by a boat.

Ranboya / Kaminari Iwa **Ofunato**

TEL 0192-29-2359 (Goishi Coast Information Center)

The Ranboya is a sea valley on the Goishi coastside with dozens of rocks 10 meters in height faced towards each other. One of those, a gigantic rock called the "Kaminari Iwa (Thunder Rock)" is named from its distinctive thunder-like sound when a tall wave hits the side of the rock.



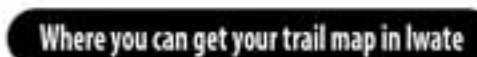
Japan's largest geopark that spreads across 16 municipalities and 3 prefectures in the Tohoku region, from Hachinohe City in Aomori Prefecture to Kesennuma City in Miyagi Prefecture. It is currently used as a field learning site for disaster prevention to convey the memories and lessons learned from the Great East Japan Earthquake and Tsunami, as well as learning 500 million years worth of the earth's evolution and changes on a global scale.



A long trail connecting the Pacific coasts of Hachinohe City in Aomori Prefecture and Soma City in Fukushima Prefecture. It was regarded as a symbol of reconstruction from the Great East Japan Earthquake and Tsunami. There are a number of great viewpoints of the dynamic ocean and mountain ranges, including the Sanriku Geopark and several scenic spots on the rias shoreline.



The Michinoku Shiokaze (Sea Breeze) Trail offers unique Trail Maps for each section of the trail. You may obtain the map at several tourist facilities, by mail, or via online from the official website.



Kitayamazaki Visitor Center, Jodogahama Visitor Center, Goishi Coast Information Center

How to Get your Map by Mail

Please mail a request letter to: Michinoku Shiokaze (Sea Breeze) Trail Natori Trail Center 5-300-31-1 Yuriage, Natori, Miyagi 981-1213 Japan
Attn: Michinoku Sea Breeze Trail Mailing Office TEL 022-398-6181 FAX 022-398-6182 URL <http://tohoku.env.go.jp/mct/>

Senjojiki **Kamaishi**

TEL 0193-22-5835 (Kamaishi Tourist Information Center)

The Ohakozaki is one scenic spot located on the tip of the Hakoziaki Peninsula. On the south side, a vast amount of flat granite rocks spreads along the coast like a Senjojiki (one thousand tatami mats).

World Heritage

Chusonji Temple

Hiraizumi

The temple premises, including the shiny Konjiki-do (Golden Hall), represents the culture of Hiraizumi along with the many national treasures and cultural properties displayed here. TEL 0191-46-2211

In addition to Hiraizumi and the Hashino Iron Mining and Smelting Site, you may also enjoy Hayachine Kagura and Washoku (Japanese Traditional Dietary Culture) such as mochi (rice cake), a culture of Ichinoseki City, both registered as UNESCO's Intangible Cultural Heritage.

TRY! 10

Going around World Heritage Sites of Iwate

World Heritage

Motsuji Temple

Hiraizumi

The priest Ennin, post-humously named Jikaku Daishi, established his sect in 850 (Kasho Era 3). This World Heritage site is said to have been built under the orders of Motohira, the second, and Hidehira, the third ruler of the Northern Fujiwara clan. It is another popular temple in Hiraizumi along with the Chusonji Temple. TEL 0191-46-2331

World Heritage

Muryokoin Ruins

Hiraizumi

Built by Hidehira, third ruler of the Northern Fujiwara clan, the temple was designed to imitate the Byodoin Temple in Kyoto. Currently, only the earthwork, foundation stone, and remains of the garden are left, which creates a hidden, peaceful and sacred atmosphere. TEL 0191-46-4012 [Hiraizumi Cultural Heritage Center]

World Heritage

Kanjaioin Ruins

Hiraizumi

The wife of Motohira, second ruler of the Northern Fujiwara clan, supposedly ordered the construction of this temple. It was built based on a method written in a Heian-era gardening book called "Sakuteiki". While almost all features of its Jodo Garden (where Buddha and the bodhisattvas live) remains today, the ruins are currently maintained as a place for relaxation. TEL 0191-46-4012 [Hiraizumi Cultural Heritage Center]

World Heritage

Mount Kinkeizan

Hiraizumi

It is said that a golden rooster and a hen have been buried in this mountain to protect the area of Hiraizumi. Legend also says that Hidehira, third ruler of the Northern Fujiwara clan, managed to have this man-made mountain built overnight by making the workers line up all the way to the Kitakami River. TEL 0191-46-4012 [Hiraizumi Cultural Heritage Center]

Still got room to see more?

Approximately 35 minutes from the Kamaishi Unosumai Memorial Stadium!

World Heritage

Kamaishi

Hashino Iron Mining and Smelting Site

Built under the supervision of Takato Oshima from the Morioka domain, this World Heritage site contains the remains of the oldest existing Western-style blast furnace in Japan. From the Bakumatsu (final years of the Edo period) to the Meiji era, this facility laid a foundation to developing the field of modern steelmaking during the Japanese Industrial Revolution. At this site, you can see the remains of the three blast furnaces used at the time. TEL 0193-22-8846 [Kamaishi City World Heritage Department]



Hashino Iron Mining and Smelting Site Shuttle Bus (With Local Guide)

You can take a shuttle bus to the Hashino Iron Mining and Smelting Site. The bus operates round trip from the Kamaishi Station to the World Heritage site, via Unosumai Station. How about a guided tour with detailed explanations from local expert guides?

Operation dates between September - November 2019

September 1, 7, 8, 14-16, 21-26, 28, 29

October 5, 6, 12-14, 19, 20, 26, 27

November 2-4, 9, 10, 16, 17, 23, 24

Operation may be suspended due to bad weather, etc. Please inquire and make booking directly with the operating business. (Iwate Ryokosha TEL 0193-31-1300)

You can now finally download a helpful app to get to know more about the World Heritage: Hashino Iron Mining and Smelting Site.

Hashino Iron Mining and Smelting Site AR Tourist Guide App

When you hold your smartphone up in front of the smelting site, you can watch a reenactment video at that time.

Digital Guide of Hashino Iron Mining and Smelting Site

When you use the app at the site, you can listen to audio guides according to your geographic location. In addition, you can watch a reenacted 360-degree panoramic video of the first installment of the smelting site.

Search for the app in the Play Store or the App Store

Hashino Iron Mining and Smelting Site

Search

Hashino Iron Mining and Smelting Site Information Center

There are visual explanations of the Hashino Iron Mining and Smelting Site at the center through videos and display panels. You can also pay for an Audio Guide Map (available in Japanese / English / Chinese / Korean) to help you navigate the site. Local guides are also available with a certain fee. Admission to the center itself is free. Closed during the winter season (December 9 to March 31) TEL 0193-54-5250

Our proud UNESCO Intangible Cultural Heritage of Iwate



UNESCO Intangible Cultural Heritage

Hayachine Kagura

Hanamaki

Kagura is a traditional performing arts of music and dance dedicated to Shinto gods with more than 500 years of history. Comprised of 40 or more dance programs based on two kagura types, the "Otsugunai" and the "Take", it is said to originate from the prayers of those who practice asceticism in the mountains.

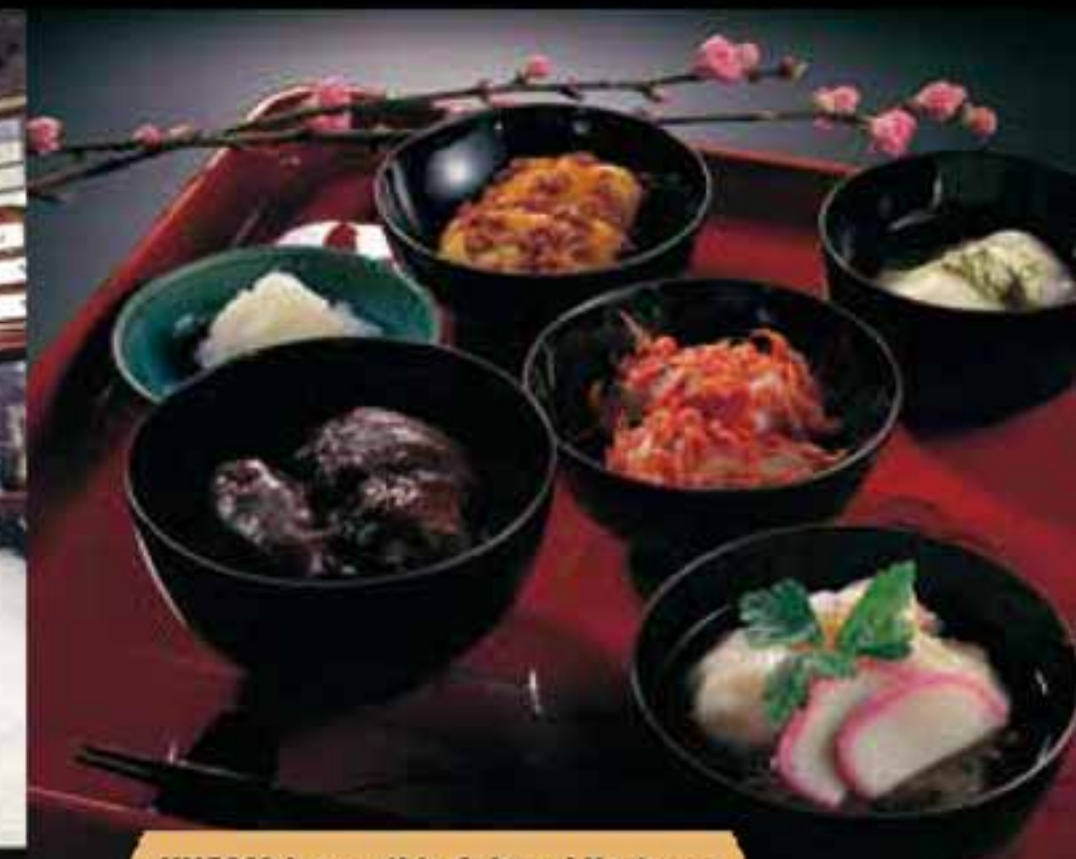


UNESCO Intangible Cultural Heritage

Suneka of Yoshihama

Ofunato

The "Suneka" is a type of deity with a demon-like mask dressed in a straw cape that visits local neighborhoods on the evening of the Lunar New Year's Day (January 15). Upon entering homes, it disciplines the lazy and the crying child. This is a fairly common tradition of the Sanriku coast, and has a different name depending on the region.



UNESCO Intangible Cultural Heritage

Washoku

- Mochi Culture of Ichinoseki -

In the Ichinoseki Region, where good sticky rice has been harvested since the old times, there is a custom of eating mochi (rice cake) for celebration or seasonal occasions. As part of "Washoku" registered under the UNESCO Intangible Cultural Heritage in 2013, it is illustrated as the "Rice Cake Culture of Ichinoseki".

Ichinoseki

Central Area

Morioka, formerly a castle town, is full of nostalgic charm, which makes walking around the city so much fun. You can also go for a nature walk or a scenic drive in Hachimantai to thoroughly enjoy the fresh greenery of spring or the colorful autumn leaves with a lot of unique hot spring (onsen) locations in the area, as well.

1 Hachimantai

Hachimantai

Indulge in the magnificent nature through a variety of outdoor activities such as driving and trekking. Known to be one of Japan's top scenic spots in autumn, the best time to see the beautiful leaves is from late September to early October, which you can also enjoy with the many hot springs (onsen) in the area. TEL 0195-78-3500 (Hachimantai Tourism Association)



The Rindo Fairy: Arin-chan



Shizuku-chan Shizukuishi



Shiwamaro-kun Morioka

2 Koiwai Farm

This is Japan's largest integrated and privately-owned farm. You can sign up for the popular guided tour, "The Koiwai Farm Story", which will take you through some of the normally off-limits production sites and facilities that are designated as Nationally Important Cultural Properties. TEL 019-692-4321

3 Bank of Iwate Red Brick Building

Based on a design by Kingo Tatsuno and the Manji Kasai architect office in 1911, the building was originally built to use as a head quarter for the Bank of Morioka. Afterwards, it functioned as the Nakano-hashii Branch of the Bank of Iwate up until 2012. TEL 019-622-1236

Southern Area

4 Geibikei

Ichinoseki

The mountainous cliffs at the Geibikei gorge can reach up to a height of 100 meters. Take a relaxing 2-km boat ride as you listen to the boatman or woman row to a song of the local folksong, Geibi Oiwake. TEL 0191-47-2341 (Geibi Tourism Center)



Miko Sisters



Karin-chan Tono

5 Tono Furusato Village

This facility replicates a traditional mountain village of Tono, including rice fields, water mills, and the Nanbu Magariya (L-shaped traditional farmhouses). In addition to a variety of hands-on workshops, you can interact with the Maburitto-shu, a local language for a group of people who preserve the culture and tradition of Tono. TEL 0198-64-2300



Kenji Miyazawa Memorial Museum



Kenji Miyazawa's Fairy Tale World

Flower Roll-chan Hanamaki

6 Kenji Miyazawa Memorial Museum & Kenji Miyazawa's Fairy Tale World

The memorial museum introduces the wonderful world of Kenji Miyazawa through his works and unique life experiences. The Fairy Tale World also successfully brings to life the many stories told by Kenji Miyazawa through vibrant and interactive attractions. It is considered one of the "88 Sacred Places For Fans of Japanese Animation to Visit (2019 Edition)". TEL 0198-31-2319 (Kenji Miyazawa Memorial Museum) TEL 0198-31-2211 (Kenji Miyazawa Fairy Tale World)

Tourist Attractions of Iwate



Amarin Kuji

7 Hiraniwa Plateau

Bask in a forest of 300,000 beautiful, white birch trees, the most in Japan. The forest shows its many colors through the four seasons, from the fresh greenery of spring to the splendid colors in autumn. The best time to see the autumn leaves is from mid-October to early November. TEL 0194-72-2700 (Hiraniwa Sanso)



Goshodon Ichinohe

8 Goshono Site

Wide-scale remains of the mid-Jomon Era settlement, which goes back roughly 4,000 years, were uncovered here. Current efforts are made to register the location as another World Heritage site under the "Jomon Culture and Archaeological Sites of Hokkaido and Northern Tohoku Region" category. TEL 0195-32-2652 (Goshono Jomon Museum)

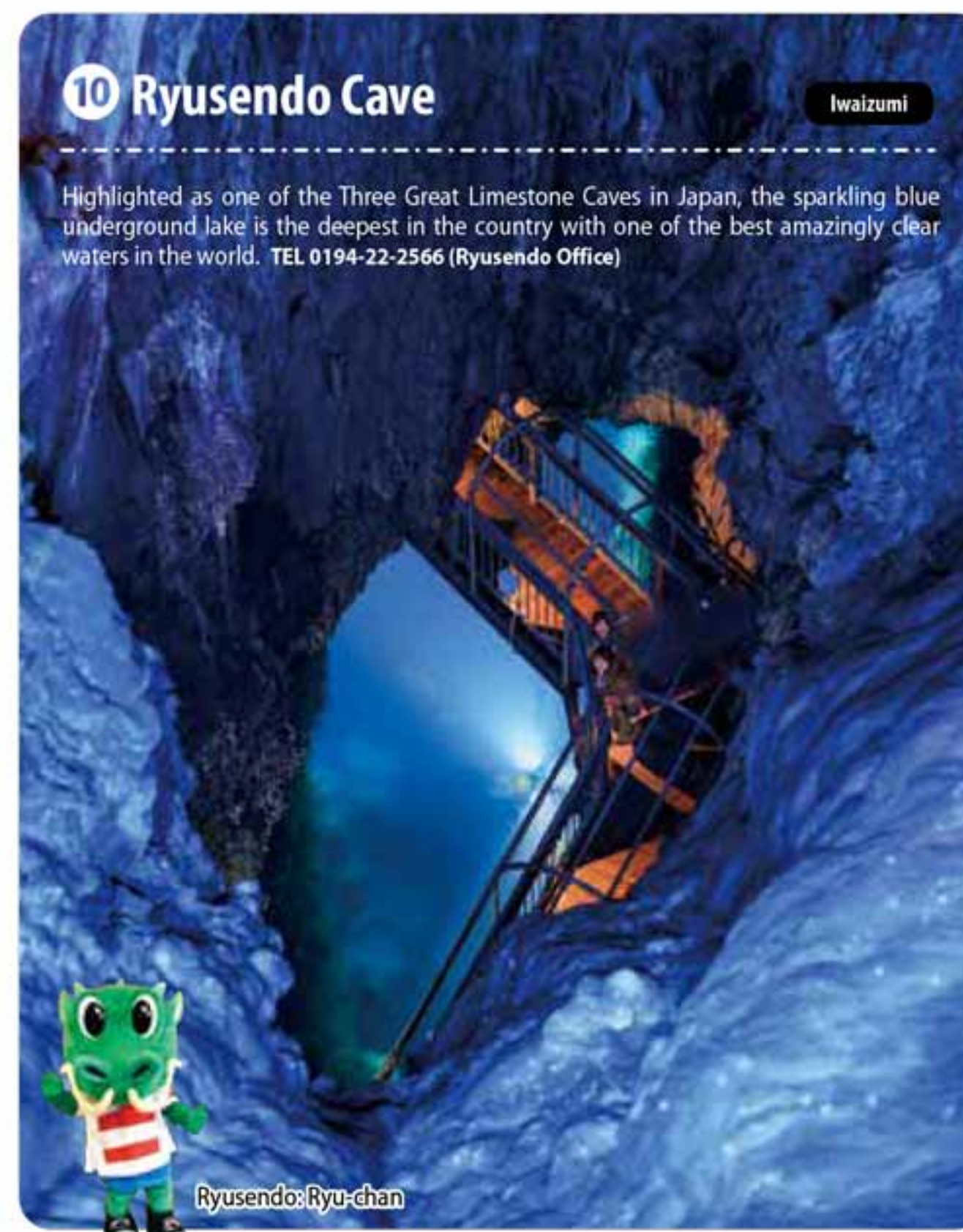


Kamemaro-kun

9 Basenkyo

Here, you can see the largest Meoto-iwa (The Couple Rocks) in Japan, the "Ogami-iwa (God Rock)" and the "Megami-iwa (Goddess Rock)". It also is a wonderful place to see the beautiful leaves in autumn, with mid-October to early November being the best time to see them. TEL 0195-23-3641 (Ninohe City Tourism Association)

Ninohe



10 Ryusendo Cave

Iwaizumi

Highlighted as one of the Three Great Limestone Caves in Japan, the sparkling blue underground lake is the deepest in the country with one of the best amazingly clear waters in the world. TEL 0194-22-2566 (Ryusendo Office)

Ryusendo: Ryu-chan

Coastal Area

The Sanriku coastal area is where you can see stunning scenic spots of the sea and mountain ranges within the Sanriku Geopark such as the Kitayamazaki Cliffs, the Ryusendo Cave, and the Jodogahama Beach.



Salmon-kun Miyako

11 The Blue Cave Sappa Boat Cruise

Explore a popular spot in Jodogahama, the "Blue Cave", on a Sappa Boat (small fishing boat). Within the cave walls, you can enjoy the fascinating emerald green waters and the mystical atmosphere that extends throughout the cave. TEL 0193-63-1327 (Jodogahama Marine House)



O-chan Otsuchi

12 Horaijima Island

A gourd-shaped island located in the middle of Otsuchi Bay. It is said to be the origin of the NHK TV puppet show "Hyokkori Hyotan Jima (Gourd Island)". TEL 0193-42-5121 (Otsuchi Tourism Exchange Association)

Click here for online inquiries about tours in Iwate

Iwate Tourism Association <https://iwatetabi.jp/>

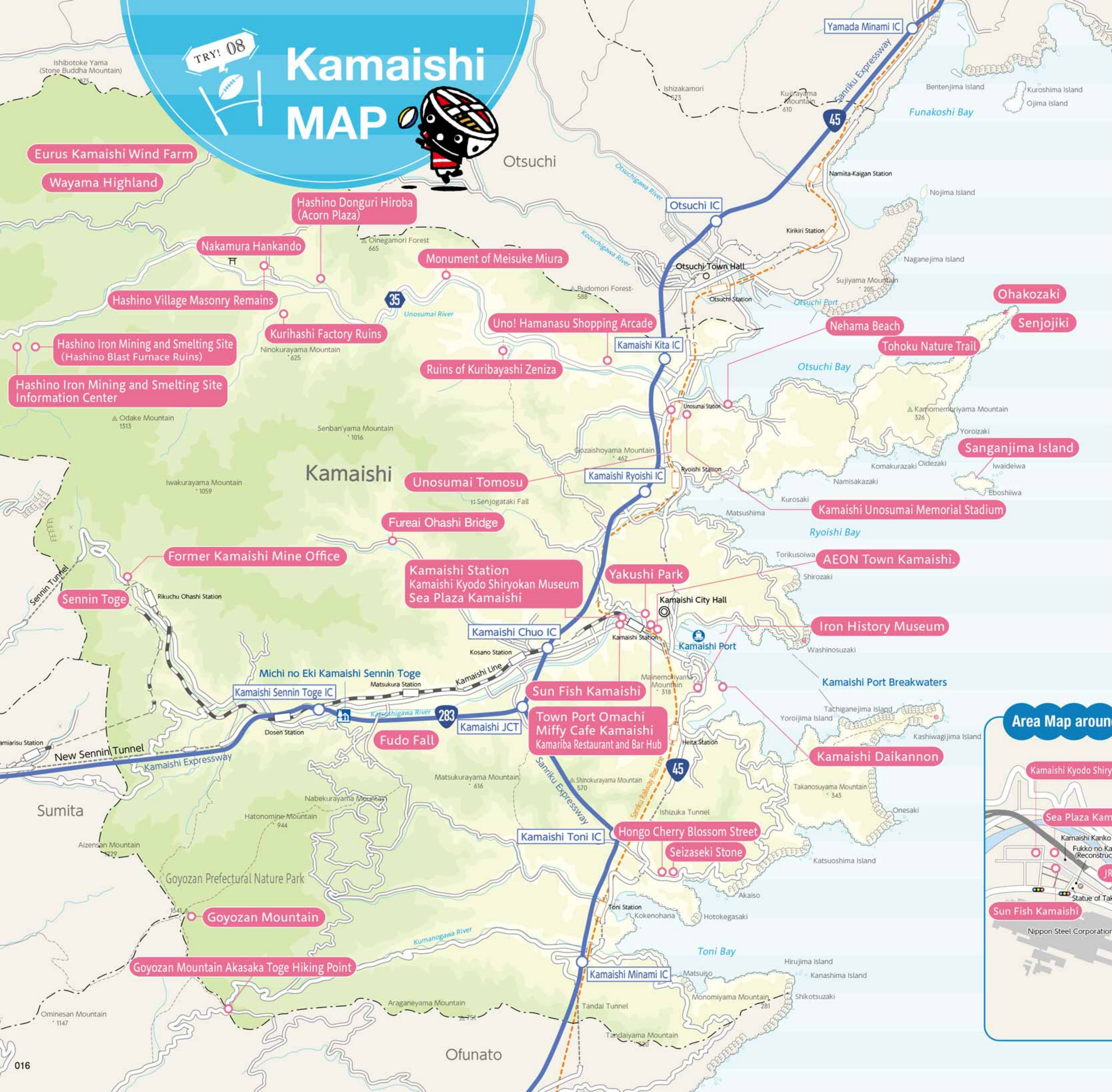


Iwate-Kamaishi Rugby Support Store

We look forward to welcoming you with smiles to Iwate and Kamaishi!

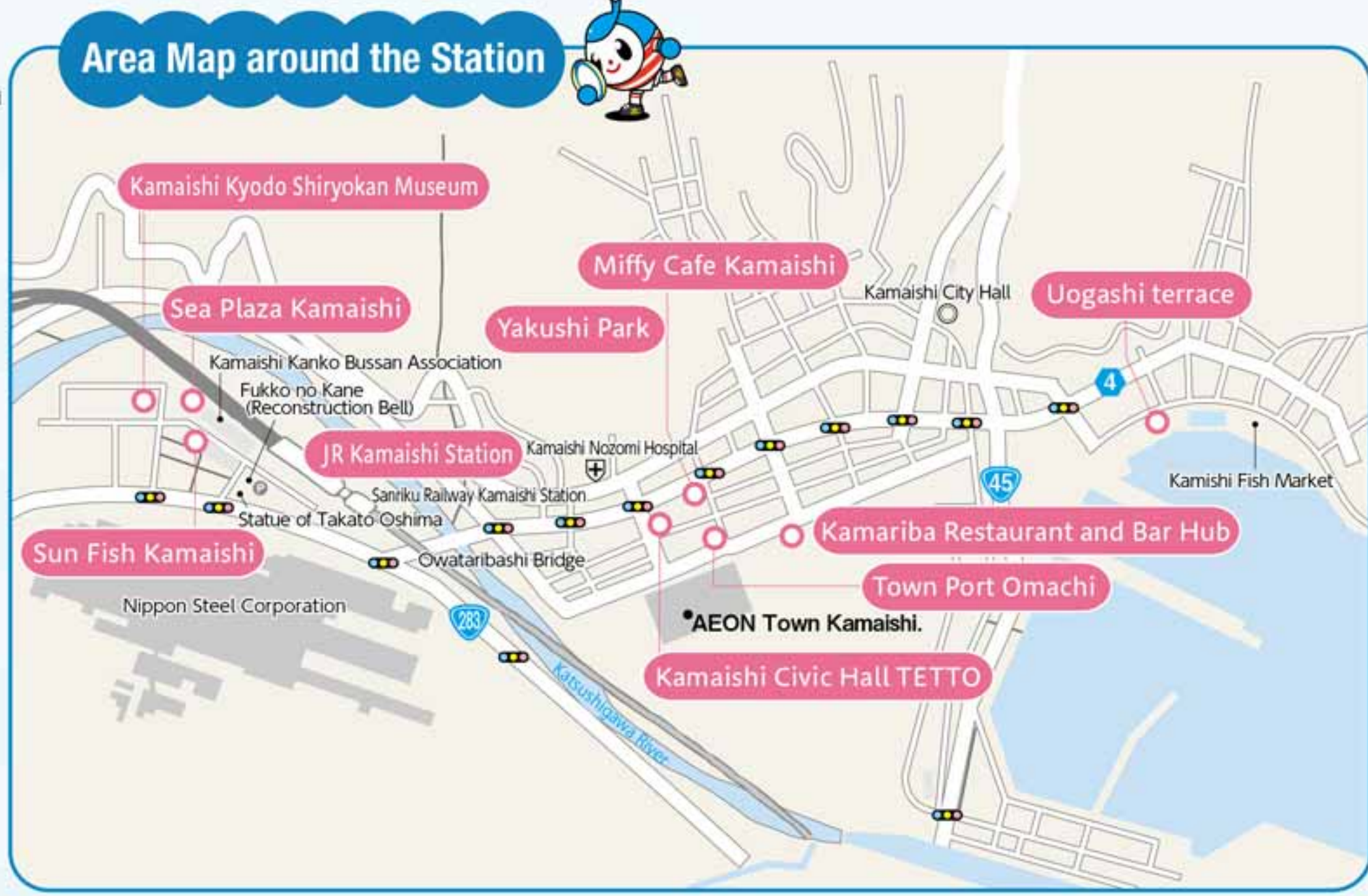


TRY! 08 Kamaishi MAP



Accommodations

Hotel Sunroute Kamaishi	2-3-3 Omachi Kamaishi	TEL: 0193-24-3311
Kamaishi Baycity Hotel	1-8-1 Omachi Kamaishi	TEL: 0193-22-6611
Rikuchu Kaigan Grand Hotel	1-2-3 Minatomachi Kamaishi	TEL: 0193-22-1211
Hotel Marue	2-1-10 Owaricho Kamaishi	TEL: 0193-24-3911
Hotel Alice Garden	2-5-11 Owaricho Kamaishi	TEL: 0193-27-5155
Hotel Route-Inn Kamaishi	2-5-17 Omachi Kamaishi	TEL: 050-5847-7701
Tada Ryokan	3-5-15 Omachi Kamaishi	TEL: 0193-22-3576
Kamaishi Pansion	1-3-2 Otadakocho Kamaishi	TEL: 0193-24-3703
Owatari Pansion will	1-5-8 Owaricho Kamaishi	TEL: 0193-22-5525
Kamaishi Station Hotel	4-1 Suzukocho Kamaishi	TEL: 0193-22-3070
Hotel Folkloro Sanriku Kamaishi	22-4 Suzukocho Kamaishi	TEL: 0193-38-5536
Sanrikunoyado Takakin	6-8 Suzukocho Kamaishi	TEL: 0193-22-4559
Hotel Seagullea Marine	3-61-22 Heita Kamaishi	TEL: 0193-26-5111
Heita Pansion	3-69 Heita Kamaishi	TEL: 0193-26-6511
Hotel I-room Kamaishi Unosumai	9-15 Dai-3 Chiwari Unosumaicho Kamaishi	TEL: 0120-773-040 (Reservation Center)
Hamabeno Ryouriyado Horaikan	20-93-18 Unosumaicho Kamaishi	TEL: 0193-28-2526
Minshuku Maekawa	22-38-2 Unosumaicho Kamaishi	TEL: 0193-28-3869
Oikawa Ryokan	1-2-9 Sakuragicho Kamaishi	TEL: 0193-23-5474
Hiraji Ryokan	1-20-31 Nakazumacho Kamaishi	TEL: 0193-23-5805
Ryokan Nakamura	2-4-15 Nakazumacho Kamaishi	TEL: 0193-23-7527
Murohama no yado	10-110-1 Katagishicho Kamaishi	TEL: 0193-28-2315
Omachi Pansion	2-5-18 Omachi Kamaishi	TEL: 0193-22-4788



Kamaishi Around the City

TRY! 07



Learn the history of the town of iron, at the World Heritage "Hashino Iron Mining and Smelting Site".

Savor the fresh seafood at one of the world's three greatest fishing grounds, the port of Sanriku.

Enjoy Kamaishi, "the town of Iron, Fishery, and Rugby".

Kamaishi Kanko Bussan Association TEL: 0193-22-5835 <http://kamaishi-kankou.sakura.ne.jp/>



Kamaishi Station

The plaza in front of the train station has the Fukko no Kane (Reconstruction Bell), the Monument of Iron, and a statue of Takato Oshima, who is said to be the father of modern steelmaking.



UNESCO World Heritage Site: Hashino Iron Mining and Smelting Site

In addition to the old waterways and ruins of the water mill, you can see the three oldest remaining Western-style blast furnaces in Japan, built under the technical supervision of Takato Oshima, the father of Japanese modern steelmaking. TEL 0193-54-5250

Hashino Iron Mining and Smelting Site Information Center

TEL: 0193-54-5250
Access: 40 minutes by car from the JR or Sanriku Railway Kamaishi Station
Closed: during winter season (December 9 to March 31)

About 45 minutes by car



Sea Plaza Kamaishi

1 minute walk from JR Kamaishi Station

Sanriku's new information center using the latest equipment. In addition to sales of local specialty products and restaurants, the building also houses the "Kamaishi Rugby Cafe". There you can learn the history of the Kamaishi rugby team, from their 7 consecutive wins at the All-Japan Rugby Football Championship until now.

TEL 0193-31-1177

Hours: 9:00 AM - 7:00 PM Closed on: First, Third, and Fifth Tuesdays of Each Month



1 minute walk from JR Kamaishi Station

Sun Fish Kamaishi

Sun Fish Kamaishi was launched after the closing of Kyojo Market which served the city for 45 years. The first floor is a market full of fresh local seasonal items, and the second floor offers a rest area and restaurants.

TEL 0193-31-3668

Hours: 1F 7:00 AM - 4:00 PM / 2F 11:30 AM - 10:00 PM
Closed on: Wednesdays
<http://sunfish-kamaishi.sakura.ne.jp/>



10 minute walk from JR Kamaishi Station

Yakushi Park

Kamaishi's best spot for cherry blossom viewing, Yakushi Park is located on high ground, overlooking the city and Kamaishi Bay. Inside the park is a statue of goddess built to comfort the spirits of war victims and to wish for peace, and a monument for Matatsuke Takahashi, who devoted himself to the development of modern steelmaking. The Cherry Blossom Festival is held here during the spring, when the cherry blossoms are in full bloom.

Get to know Kamaishi as "The City of Iron"



About 15 minutes by car

Michi no Eki Kamaishi - Sennin Toge

This Michi no Eki (roadside rest area) is full of local specialties and souvenirs of Kamaishi. The most popular is a soft-served ice cream with a hint of a soy sauce flavor using the "Fujiyu Soy Sauce", a local product of Kamaishi. TEL 0193-27-8530



About 8 minutes by car

Kyodo Shiryokan Museum

There are approximately four thousand and several hundred pieces of designated cultural properties, photographs, and tools that were used back in the day on display, including a replicated model of the Hashino blast furnace, a symbol of Kamaishi as the iron city. The museum is split into seven themes such as lifestyle, nature, culture, and disaster, with a clear description for all exhibits. TEL 0193-22-2046



About 2 minutes by car

Kamaishi Iron History Museum

This is a museum showcasing the industrial history of iron in Kamaishi and how it came to be the origin of modern Japanese steelmaking. You can see a full-scale reconstruction of the blast furnace from the World Heritage Hashino Iron Mining and Smelting Site, and a number of other valuable historical materials. TEL 0193-24-2211

Kamaishi Daikannon

A 48.5m tall, white Kannon (Bodhisattva) statue stands at the tip of Kamasaki. After climbing up a long flight of stairs, you can enjoy a panoramic view of the magnificent Pacific Ocean and the rias shorelines from the Gyoran Observatory (120m above sea level). It is also officially known as the "Lovers' Sacred Ground". TEL 0193-24-2125



10 minute walk from JR Kamaishi Station

Town Port Omachi

Connected to AEON Town Kamaishi. Lively restaurants and shops are available! You can also relax at the wooden deck and grass plaza. TEL 0193-22-3607 (KAMAISHI Community Development Co., Ltd.)



10 minute walk from JR Kamaishi Station

Restaurant and Bar Hub Kamariba

The Kamariba Restaurant and Bar Hub was launched in January 2017 as a municipal land utilization project for the reconstruction of the restaurant area affected by the tsunami. Check out the website of Kamaishi City for more information!

Kamariba

Search



10 minute walk from JR Kamaishi Station

Miffy Cafe Kamaishi

The only permanent Miffy-themed café in Japan. Designed to invite you into the world of Miffy, a variety of adorable dolls and items are displayed throughout the café space. From the Kamaishi station, you can find your path to the café by following the Miffy Street, where cute signs and boards are posted along a 1.5km stretch all the way to the Uogashi area. TEL 0193-55-6707



Near Kamaishi Unosumai Memorial Stadium Unosumai Tomosu

In March 2019, the Kamaishi Inori no Park (Prayer's Park) was built as a memorial tribute to the victims of the Unosumai region from the Great East Japan Earthquake and Tsunami. Nearby, you can visit the Inochi wo Tsunagu Miraikan (Connecting Lives for the Future) Museum to learn about disaster prevention and the Unosato Koryukan (Exchange Center) for souvenir shopping, all within walking distance of the Unosumai train station. TEL 0193-27-5666 (Office of Unosumai Tomosu)



Inochi wo Tsunagu Miraikan

This is a facility where you can view detailed records of the tsunami that hit the region and also learn helpful prevention measures to prepare for a tsunami disaster. Free admission.



Unosato Koryukan

You can find a small fish shop operated by the local fishery co-op, a dining area for a quick meal, and souvenir shops.

Uogashi Nigiwaikan "Uogashi Terrace"

Opened in April 2019. Adjacent to the fish market, this is the new bustling spot of the town with an open plaza overlooking Kamaishi Bay, restaurants to enjoy the various tastes of Kamaishi, and an exhibition space for learning about the local entertainment and the ocean. TEL: 0193-27-5566





For detailed information about each facility, see the website here.
Shinsai Densho (Disaster Awareness) Network Council by the MLIT Home Page



Disaster Memorial Facilities in Iwate

As of July 1st 2019



Source: Shinsai Densho (Disaster Awareness) Network Council by the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (MLIT)

* The facilities listed here are those registered under the "Remnants of Disaster Registration System", conducted by the Shinsai Densho Network Council by the MLIT.

"Disaster Memorial Facilities" refers to facilities that will pass on the facts and lessons learned from the Great East Japan Earthquake, which fall under any of the following criteria.

- 1) Those in which we can see the lessons learned from the disaster
- 2) Those that contribute to disaster prevention in case of emergency
- 3) Those that show the fear of disaster or the awe of the nature
- 4) Those with historical or academic value in terms of studying the disaster
- 5) Others (that can be deemed to show the facts of the disaster or the lessons that we need to pass on)



1 Taro Kanko Hotel

This is the facility that preserves and maintains the "Taro Kanko Hotel", which was affected by the tsunami said to exceed 17 meters in height, as the remnant and prevention guide of natural disaster. It conveys the fear of natural disaster as well as raising awareness of disaster prevention.



2 Taro Shiosato Station

It is a facility where the tourist information center which was completely destroyed by the tsunami is restored and relocated as the new tourist information center of Michi no Eki Taro. Visitors can see disaster-related footage and take part in a learn about disaster prevention footage and take parto district, an area that has become a center for disaster prevention education.



3 Miyako Civic Exchange Centre Disaster Prevention Plaza

It is a section organized in the Miyako Civic Exchange Center for the purpose of conveying experience of the Great East Japan Earthquake and to aim for education and learning of disaster prevention. This facility aims to raise visitors' awareness of natural disasters and disaster prevention through videos, models and quizzes.



4 Taro Sea Wall

Although Taro had a seawall of 2,433 meters in length and 10 meters in height, the tsunami that followed the Great East Japan Earthquake poured over the seawall, causing enormous damage to the town of Taro. The seawall was partially destroyed but has been restored to its former state with the aim of contributing to disaster prevention by teaching the future generations about the severe effects of a tsunami.



5 Shinsai Memorial Park Nakanohama

Once a campsite, until suffering damage from a tsunami more than 15 meters tall, caused by the Great East Japan Earthquake, the remains have been remade as a park. The remnants in this park convey the power of nature and preserve the memories of the earthquake.



6 Ofunato City Museum

In addition to our film exhibit of "The Raging Sea - Tsunami Prone Ofunato", we also have photographs and records of the tsunamis caused by Great East Japan Earthquake, the 1896 and 1933 earthquakes, and the incident in 1960 (tsunami caused by the Chile earthquake).



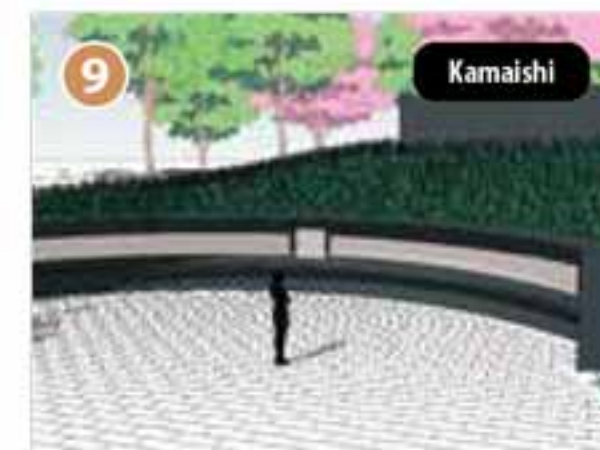
7 Underground Science Museum Moguranpia

Using videos, panels, smartphones and tablets, this museum shows us the circumstances at the time of the disaster, and how the reconstruction and restoration of the city progressed.



8 3.11 Great East Japan Earthquake Tono City Koho Shien Shiryokan (Tono Logistical Support Archive)

These records show how the public and private sectors in Tono City worked together to support the coastal areas affected by the Great East Japan Earthquake. The exhibition is open to the public so that Tono City residents "do not forget, and do not let the next generation forget".



9 Kamaishi Inori Park

This facility was created to honor and pay tribute to the victims of the Great East Japan Earthquake and Tsunami, while passing on the memories and lessons of the earthquake to future generations. Its basic philosophy is to honor the victims of the tsunami and protect the lives of the future generations.



10 Inochi wo Tsunagu Miraikan

This facility promotes learning about disaster prevention by showcasing the events and lessons learned from the Great East Japan Earthquake. Its target audience is the children who will be responsible for the next generation. We also provide disaster prevention learning experience programs for visitors from outside the city.



More to come! Disaster Memorial Facilities

- Ofunato 15 Ofunato Public Gymnasium Clock**
- Ofunato 16 Current Rip (Shiome)**
- Ofunato 17 Chachamaru Park Clock Tower**
- Ofunato 18 Yumemi Park**
- Kuji 19 Cairn - Bell and Light of Requiem**
- Fudai 20 Monument Honoring Mayor Wamura Kotoku**
- Fudai 21 Otanabe Sea Wall**
- Fudai 22 Fudai Watergate**
- Noda 23 Part of Yoneda Footbridge and others**



11 Otsuchi Cultural Exchange Center Oshatchi

In addition to an exhibition on the village, surrounding nature, and the reconstruction process (including the earthquake), you may also watch a guidance video (18-minutes long) that summarizes the reconstruction process from 7 years after the disaster. Also, "Memoirs of the Witnesses", a collection of records that tells of the lives of Otsuchi's 621 victims of the tsunami and how they were affected by it, is also included in the exhibit.



12 Remnants of Earthquake Aketo Coastal Sea Wall

The sea wall destroyed by the tsunami is preserved as it was at the time of the disaster. In the remnants of the earthquake and surrounding affected area, local resident guides provide tsunami experience guide program.



13 Shimanokoshi Fureai Park

A reconstruction memorial park built on the former Shimanokoshi station building which was swept away by the tsunami following the Great East Japan Earthquake. The Kenji Miyazawa poetry monument which endured the tsunami has been left untouched since the disaster, conveying the threatening power of the tsunami.



14 Raga Fureai Park

The tsunami stone monuments in this park, from the Great Meiji Sanriku Tsunami in 1896 and the Showa Sanriku Tsunami in 1933, impart upon us the threat and lessons learned from tsunami.

TAKATA MATSUBARA TSUNAMI RECONSTRUCTION MEMORIAL PARK



Back in the day, along the bow-shaped sand beach that ran along the Hirota Bay from the mouth of the Kesengawa River was Takata Matsubara, a national scenic attraction. The beautiful contrast of white sand and green pines attracted many tourists, and was one of the most popular beaches in Iwate prefecture during the summer.

However, after the tsunami following the Great East Japan Earthquake, Rikuzentakata City had become the largest affected area in Iwate Prefecture, and the sandbars and pines of Takata Matsubara were almost completely destroyed.

The national government, Iwate Prefecture and Rikuzentakata City have since cooperated to create the "Takata Matsubara Tsunami Reconstruction Memorial Park", both in memoriam of the victims of the Great East Japan Earthquake, and to clearly show domestic and international visitors the strong desire for recovery and the revitalization of the area and Japan.

Remnants of Earthquake remaining in the Park



"Iwate TSUNAMI Memorial" Opening in the September 2019!



Iwate Prefecture is working on the Great East Japan Earthquake and Tsunami Memorial Museum (nickname: Iwate Tsunami Memorial Museum), inside the Takata Matsubara Tsunami Reconstruction Memorial Park in Rikuzentakata City.

The facility aims to pass on the facts and lessons learned from the earthquake to later generations and to let the world know about the recovery of the city, so that a repeat of the same tragedy of the Great East Japan Earthquake and Tsunami might be avoided.

Here, they plan to show video content and exhibitions which you can learn about the history of tsunami disasters in the Sanriku area, the facts of the Great East Japan Earthquake and Tsunami, and lessons learned from the disaster, all for free of charge.



Reconstruction following the Great East Japan Earthquake and Tsunami

Outlook on the Great East Japan Earthquake and Tsunami

(from the Iwate Prefecture Disaster Response Headquarters)

- ▶ **Name (Date):** Great East Japan Earthquake and Tsunami (2:46 PM on Friday, March 11, 2011)
*The national government calls the disaster created by the earthquake "The Great East Japan Earthquake", but in Iwate Prefecture, it is known as "The Great East Japan Earthquake and Tsunami".
- ▶ **Epicenter:** 130 km east-southeast off Oshika Peninsula, Sanriku (38°06.2' N / 142°51.6' E)
- ▶ **Epicenter Depth/Size:** 24 km, Magnitude 9.0 (Moment Magnitude)
- ▶ **Maximum Magnitude in the Prefecture:** Intensity 6 Lower: Ofunato, Kamaishi, Takizawa, Yahaba, Hanamaki, Ichinoseki, Oshu, and Fujisawa
- ▶ **Largest Tsunami Wave:** [Miyako] 3:26 PM on the 11th: Over 8.5 meters [Kamaishi] 3:21 PM on the 11th: Over 4.2 meters [Ofunato] 3:18 PM on the 11th: Over 8.0 meters [Kuji Port] 8.6 meters (estimate)

Damage in Iwate Prefecture

Trace Height / Death Toll/Missing / Homes Destroyed (as of March 31, 2019)

	Inland	Prefecture Total
Death Toll	34	5,140
Missing	5	1,114
Homes Destroyed	1,846	26,079

Hirono	Homes Destroyed... 26 Trace Height...Hirono/Kuji North Coast 12.0 meters
Kuji	Death Toll... 3 / Missing... 2 / Homes Destroyed... 278 Trace Height...Kuji Bay 13.7 meters
Noda	Death Toll... 39 / Homes Destroyed... 479 Trace Height...Noda Bay 21.4 meters
Fudai	Missing... 1 Trace Height...Fudai Coast 18.4 meters
Tanohata	Death Toll... 17 / Missing... 15 / Homes Destroyed... 270 Trace Height...Tanohata Coast 23.0 meters
Iwaizumi	Death Toll... 10 / Homes Destroyed... 200 Trace Height...Iwaizumi Coast 20.2 meters
Miyako	Death Toll... 475 / Missing... 94 / Homes Destroyed... 4,005 Trace Height...Omoie Coast 21.8 meters
Yamada	Death Toll... 687 / Missing... 145 / Homes Destroyed... 3,167 Trace Height...Funakoshi Bay 19.0 meters
Otsuchi	Death Toll... 855 / Missing... 419 / Homes Destroyed... 4,167 Trace Height...Otsuchi Bay 15.1m
Kamaishi	Death Toll... 994 / Missing... 152 / Homes Destroyed... 3,656 Trace Height...Ryoishi Bay 22.6m
Ofunato	Death Toll... 422 / Missing... 79 / Homes Destroyed... 3,938 Trace Height...Ryori Bay 23.8m
Rikuzentakata	Death Toll... 1,604 / Missing... 202 / Homes Destroyed... 4,047 Trace Height...Hirota Bay 18.3m

Thank you for all of your support from all over Japan and the World!

We really appreciate your support from all over the world



Support from the JSDF

(JSDF: Japan Self-Defense Force)

Supported in various fields of activities for 138 days

In the Great East Japan Earthquake and Tsunami, the JSDF was dispatched on an unprecedented scale of 107,000 officials. It was the first time the three self-defense forces - ground, sea, and air, have been called to operate together on an integrated mission aside from training.

In addition to rescue of victims and search for missing people, the JSDF conducted various activities including the removal of rubble, transportation of relief supplies, water supply and feeding, and "counseling sessions" by female personnel.



Support from the Fire Department

Activities of rescue teams from across the nation and the local fire brigades

2,279 groups were sent in response to Iwate Prefecture's request for the dispatch of emergency fire rescue teams, a total of 7,633 personnel. So much support was provided by the fire brigades from other prefectures, including Nagoya City Fire Bureau taking command of the entire firefighting operation in the prefecture.

In addition, while many local firefighters were also victims themselves, they supported the rescue of other residents, operation of the shelters, and searches for missing people. Over 1,400 members from local fire departments participated in the support activities.



Dispatching staff to affected municipalities

More than 4,300 personnel secured from municipalities, etc. from all over Japan

The earthquake caused death of 108 employees across five coastal municipalities. Under such circumstances, Nagoya city offered to dispatch some employees to Rikuzentakata City at the end of March, immediately after the disaster, followed by offers from other parts of the prefecture and around the nation. As a result, we were able to secure 171 people in the FY 2011, over 4,300 staff by the end of March in 2019. We still request local governments around Japan for cooperation.



226 Police Officers from around the Nation Specially Dispatched to Iwate Prefecture

For Security and Safety of the Affected Area

From the FY 2011 to FY 2016, total 226 police officers from 16 prefectures have been dispatched on a special mission to Iwate prefecture in order to protect the safety and security of the affected area. The duties included patrols of temporary housing, traffic safety, and crime control.

In addition, Ofunato, Kamaishi, and Miyako police stations conducted crime prevention education through superhero skits for children and infants in the coastal area.



Dispatch of Medical Teams

Doctors all over Japan offer medical support to the affected areas

Immediately after the earthquake, DMAT (Disaster Medical Assistance Team) arrived upon request of the national government, and 128 teams from 29 prefectures worked on triage, first aid, and supported local hospitals.

In addition, with the "Emergency Local Medical Support Office" set up at Iwate Medical University soon after the disaster acting as the contact point, 88 teams, totaling 4,463 doctors, had been dispatched from outside the prefecture by the end of December 2011.

Furthermore, two prefectural hospitals were supported by Japan Medical Association Team (JMAT) Iwate branch, from the inland area to the coastal area where most people were affected.



Support from Overseas

Gratitude for the Connection

At the affected areas, the US army and the SDF conducted "Operation Tomodachi", as well as rescue teams from other countries including the US, UK, and China.

In addition, emergency supplies were sent from many countries immediately after the disaster, and donations from around the world were used to restore Sanriku Railway and to repair and develop facilities including nurseries, after school care facilities, and halls in the affected area.

Iwate Manabi No Kibou Kikin

(Iwate Hope for Education Fund)

The "Iwate Manabi No Kibou Kikin (Iwate Hope for Education Fund)" fund was established in June 2011 to support the lives and learning of children who suffered during the Great East Japan Earthquake and Tsunami. Even now, more than 8 years since the earthquake and tsunami, we continue to receive so many contributions both domestically and internationally. Your support gives hope and a future to the children.

A Thank You Message



Senior at Kamaishi High School

Yui Ueta

I've been working hard every day, trying to achieve my goal. My goal at the moment is to go abroad for volunteer work. The great earthquake happened when I was in 3rd grade. I spent days feeling uneasy at the shelter, where I couldn't really figure out what was going on. Under these circumstances, it was the volunteers that gave me energy. Some of them came from abroad to support us, and I was very encouraged by their warm and happy smiles. This got me interested in volunteer work. Like the people who helped me through this, I want to be involved in activities for children around the world to make them smile.

Now, I am committed to studying and extracurricular activities, which is quite fulfilling. I'm also actively challenging myself on

what I want to do. I've had so much fun in every activity I've pursued - a short-term study abroad program to Australia, student council activities, and volunteer activities, to name a few. Interacting with people with different values and professions made me discover new ways of looking at things and new perspectives. I would like to continue challenging myself to do many different things, to make my high school life as fulfilling as possible.

I am able to live doing what I want to do, thanks to all of your contributions. I want to continue living with ambition, and make every effort to achieve my goals. Thank you very much for all of your support.

For more details, go to Iwate Prefecture website

Iwate Manabi No Kibou Kikin

Search

<https://www.pref.iwate.jp/shinsai/fukukou/shien/link/1002711/index.html>

Public Viewing

TRY! 03



Let's go to a Public Viewing!

Public viewings will be hosted around the prefecture during the Rugby World Cup 2019™. This lets you enjoy the tournament even if you can't make it to Kamaishi, so head to a venue near you to witness world-class the level skill and speed boasted by the rugby players.

Rugby World Cup 2015™ Parzone in England

Public Viewing Schedule (Decided events as of June 2019)

Date	Day of the Week	Match Card	Match Venue	Kickoff	Public Viewing Venue
9/20	Friday	Japan vs. Russia	Tokyo	7:45 PM	Morioka
9/25	Wednesday	Fiji vs. Uruguay	Kamaishi	2:15 PM	Morioka, Miyako, Kitakami, Tono
9/28	Saturday	Japan vs. Ireland	Shizuoka	4:15 PM	Morioka, Kitakami
9/29	Sunday	Georgia vs. Uruguay	Kumagaya	2:15 PM	Kitakami
10/5	Saturday	Australia vs. Uruguay	Oita	2:15 PM	Kitakami
10/5	Saturday	Japan vs. Samoa	Toyota	7:30 PM	Morioka, Kitakami
10/12	Saturday	New Zealand vs. Italy	Toyota	1:45 PM	Kuji*To be held in conjunction with the Kuji City Industry Festival
10/13	Sunday	Namibia vs. Canada	Kamaishi	12:15 PM	Morioka Miyako *To be held in conjunction with the Eastpia Miyako 1 Year Anniversary Event Ofunato *To be held at the Ofunato Yume Shopping Street Kuji *To be held in conjunction with the Kuji City Industry Festival Tono *To be held in conjunction with the Tono City Industry Festival Iwaizumi *To be held in conjunction with the Ryusendo Autumn Festival
10/13	Sunday	Japan vs. Scotland	Yokohama	7:45 PM	Morioka
11/2	Saturday	Final Match	Yokohama	6:00 PM	Morioka

TM © Rugby World Cup Limited2015



Please check the official website for details such as the venue and time!

Kamaishi, Iwate Rugby Information <https://www.rugby-iwate.kamaishi.pref.iwate.jp/index.html>

TRY! 04

Iwate Events September to November 2019

Experience the history and culture of Iwate as you taste the bounty of autumn in a journey to Iwate.

September

9/15 (Sun) to 9/30 (Mon)

Motsuji Temple Bush Clover Festival (Hiraizumi)

In autumn, the area around Motsuji Temple Pure Land Garden is tinged with pink bush clovers, lending a beautiful accent to the surroundings. During the Bush Clover Festival there are koto and shakuhachi performances, tea parties, and a dance that has been performed for years, together forming a refined atmosphere.

9/20 (Fri) to 9/23 (Mon)

Kuji Fall Festival (Kuji)



Hosted together by Daijingu, Akiba Shrine, and Tsumiyama Shrine, this festival boasts over 600 years of history, with floats and a portable shrine paraded through the city's main street on the opening and closing day.

9/21 (Sat)

Kenji Festival (Hanamaki)

Held on the anniversary of Kenji Miyazawa's death before his monument, there are recitations, chorus singing, and performances of Kenji's works, as well as performances of local folk arts and talks around the bonfire until late at night.

9/21 (Sat) to 9/22 (Sun)

Kamaishi Food Festival (Kamaishi)

(Presented below)

9/21 (Sat) to 9/22 (Sun)

Nippon no Furusato Tono Festival (Tono)

Roughly 60 groups participate in the Tono Festival, the largest held in the city of Tono, featuring performances of local performing arts such as nanbu-bayashi, lion dance, kagura (ancient court music), sansa dance, rice-planting dance, and a portable shrine.

9/23 (Mon)

Morioka Ishigaki Music Festival (Morioka)

Music blares from stages set up around the city of Morioka, with Morioka Castle Ruins Park as the main venue. There are live performances from famous artists and local musicians.



Kamaishi Food Festival

An event celebrating the flavors of fall with the catchphrase "Eat till you're full, play till you're full, two days of fun in Kamaishi." Children and adults alike will enjoy this event.

September

9/23 (Mon)

Sawauchi Jinku (Folk Music) National Contest (Hishiwaga)

Folk music fans from Kanto and all over Japan gather here, aiming to be the best in the nation in song and dance at this tournament, which is even broadcast on the radio.

9/28 (Sat) to 9/29 (Sun)

Nanbu National Cattle Call Contest (Iwaizumi)

A national contest for Nanbu Cattle Calling, which originated in the Iwaizumi area. Folk music lovers from across the nation gather to show off their singing skills.

10/5 (Sat) to 10/6 (Sun)

City of Oshu Nanbu Ironware Festival (Oshu)

Nanbu Ironware is one of the traditional industries of the city of Oshu. The cool sounds of windchimes herald the arrival of summer in Mizusawa, called the Little Kyoto of Michinoku. There will be displays of new ironware designs as well as an ironware market.

10/12 (Sat) to 10/14 (Mon, public holiday)

Ichinoseki & Hiraizumi Balloon Festival (Ichinoseki)



The 3rd Hot Air Balloon Honda Grand Prix, the biggest hot air balloon competition in Japan. Besides the competition, there are hot air balloon classes, moored hot air balloons (which visitors can board), and the Balloon Illusion.

10/12 (Sat) to 10/13 (Sun)

Japan Mochi Summit (Ichinoseki)

Ichinoseki is the 'holy land' of mochi rice cakes and is holding an event featuring mochi dishes from all over the country. Visitors can enjoy various traditional and creative mochi dishes and mochi sweets, and can cast their vote to decide who receives the grand prize.

10/13 (Sun)

Sanriku Sea Kayak Marathon in Miyako (Miyako)

A sea kayak race using Miyako Bay as the ideal sea kayaking course. Taking in the beautiful rock formations as you glide over the ocean is an experience that'll keep you coming back for more.

October

10/17 (Thu)

Fukusenji Fall Festival (Tono)

Fukusenji Temple was built in 1912. With a total area of 198,350 square meters, this temple is worshiped as one of sacred sites of the New Shikoku 88 Temple Pilgrimage and the New West Shikoku 33 Kannon Temple Pilgrimage.

10/18 (Fri) to 10/20 (Sun)

Kamaishi Festival (Kamaishi)

(Presented below)

10/19 (Sat) to 10/20 (Sun)

Michinoku Folklore Village Festival (Kitakami)

Michinoku Folklore Village is an open-air museum that restores and conserves historical structures such as samurai residences, merchant homes, and traditional homes of the Kitakami River Basin. Enjoy folk performing arts such as the Devil's Sword Dance and ancient court music known as kagura, as well as recreations of bridal processions.

10/20 (Sun) to 11/15 (Fri)

Chusonji Chrysanthemum Festival (Hiraizumi)

Chrysanthemum enthusiasts from all over the prefecture display carefully raised chrysanthemums and bonsai chrysanthemums in front of the main hall of the temple.

10/19 (Sat) to 10/20 (Sun)

Hachimantai Autumn Leaves Festival (Hachimantai)

Walk the three kilometers of the Citizen's Forest Area as you enjoy the vibrant red leaves and bracing autumn air of Hachimantai. Any healthy person can join regardless of age or gender.

10/20 (Sun)

Hiraniwa Bullfighting Tournament Momiji Venue (Kuji)



The only bullfighting arena in Tohoku! The powerful clash of horns! Invite your friends and family to come and watch.

November

11/1 (Fri) to 11/3 (Sun)

Autumn Fujiwara Festival (Hiraizumi)

Starts with the Memorial Service for Fujiwara, followed by a procession of children offering flowers at Chusonji Temple, then an open-air Chusonji Noh theater performance. Then, at the Pure Land Garden of Motsuji, the elegant Ennen no Mai dance is performed.



Kamaishi Festival

In addition to the "Tugboat Festival" during the daytime, where dozens of boats carrying Tiger Dancers and Kagura performers fly fishing banners in a parade through Kamaishi Port, the final day of the event features Tiger Dance, Kagura, and Te-odori performances.



There are many more events taking place in addition to those listed here. To find out more details, please visit the Iwate Prefecture Tourism Association Website.



TRY! 02

Rugby World Cup 2019™

Fanzone

in Iwate•Kamaishi



Rugby World Cup 2015™ Fanzone in England



What is Fanzone?

The Fan Zone is an official event space during the Rugby World Cup 2019™ Japan with such things as public viewing on big screens, food and drink booths, stage performances, and activities promoting rugby. This space, located in Kamaishi Civic Hall, lets everyone enjoy rugby regardless of gender or age, so if you can't watch at the stadium, come watch the tournament at the Fanzone!

Fanzone Content

The Fanzone hosts various events to entertain visitors.
*For dates and other details, please check the official website.

Rugby World Cup 2019™ Fanzone in Iwate•Kamaishi

- [Venue] Kamaishi Civic Hall (TETTO)
- [Date] Friday, September 20 to Saturday, November 2, 2019
*Excludes 10/14 to 10/18, 10/21 to 10/25, and 10/28 to 10/31.
- [Themes]
 - Showing the reconstruction of areas affected by the Great East Japan Earthquake and Tsunami
 - Expressing gratitude for support we've received from around the world
 - Hospitality unique to Kamaishi, Iwate Prefecture
 - Making "A Town Brimming with Hope and Smiles: Rugby Town Kamaishi" a Reality



Public Viewing
All 40 Rugby World Cup 2019™ Japan Tournament will be broadcast.



Rugby Activity
An area where you can experience the fun of rugby while handling a rugby ball.



Disaster Recovery Information Booth
Information on our recovery from the Great East Japan Earthquake and Tsunami of 2011.

In addition, there'll be plenty of fun events and great guests to liven up the Fan Zone!

Fanzone in Iwate•Kamaishi Schedule

Date	Day of the Week	Hours	Public Viewing		Date	Day of the Week	Hours	Public Viewing	
			Match Card	Kickoff				Match Card	Kickoff
9/20	Friday	12:00 PM to 9:30 PM	Japan vs. Russia	7:45 PM				Australia vs. Uruguay	2:15 PM
			Australia vs. Fiji	1:45 PM	10/5	Saturday	10:00 AM to 9:30 PM	England vs. Argentina	5:00 PM
9/21	Saturday	10:00 AM to 9:30 PM	France vs. Argentina	4:15 PM				Japan vs. Samoa	7:30 PM
			New Zealand vs. South Africa	6:45 PM	10/6	Sunday	10:00 AM to 9:30 PM	New Zealand vs. Namibia	1:45 PM
9/22	Sunday	10:00 AM to 9:30 PM	Italy vs. Namibia	2:15 PM				France vs. Tonga	4:45 PM
			Ireland vs. Scotland	4:45 PM	10/7	Monday	12:00 PM to 6:00 PM		
			England vs. Tonga	7:15 PM	10/8	Tuesday	12:00 PM to 9:30 PM	South Africa vs. Canada	7:15 PM
9/23	Public Holiday Monday	10:00 AM to 9:30 PM	Wales vs. Georgia	7:15 PM				Argentina vs. USA	1:45 PM
9/24	Tuesday	12:00 PM to 9:30 PM	Russia vs. Samoa	7:15 PM	10/9	Wednesday	12:00 PM to 9:30 PM	Scotland vs. Russia	4:15 PM
9/25	Wednesday	9:00 AM to 9:30 PM	Fiji vs. Uruguay	2:15 PM				Wales vs. Fiji	6:45 PM
9/26	Thursday	12:00 PM to 9:30 PM	Italy vs. Canada	4:45 PM	10/10	Thursday	12:00 PM to 6:00 PM		
			England vs. USA	7:45 PM	10/11	Friday	12:00 PM to 9:30 PM	Australia vs. Georgia	7:15 PM
9/27	Friday	12:00 PM to 6:00 PM						New Zealand vs. Italy	1:45 PM
			Argentina vs. Tonga	1:45 PM	10/12	Saturday	10:00 AM to 9:30 PM	England vs. France	5:15 PM
9/28	Saturday	10:00 AM to 9:30 PM	Japan vs. Ireland	4:15 PM				Ireland vs. Samoa	7:45 PM
			South Africa vs. Namibia	6:45 PM				Namibia vs. Canada	12:15 PM
9/29	Sunday	10:00 AM to 9:30 PM	Georgia vs. Uruguay	2:15 PM	10/13	Sunday	9:00 AM to 9:30 PM	USA vs. Tonga	2:45 PM
			Australia vs. Wales	4:45 PM				Wales vs. Uruguay	5:15 PM
9/30	Monday	12:00 PM to 9:30 PM	Scotland vs. Samoa	7:15 PM				Japan vs. Scotland	7:45 PM
10/1	Tuesday	12:00 PM to 6:00 PM			10/19	Saturday	10:00 AM to 9:30 PM	Quarter Final 1	4:15 PM
			France vs. USA	4:45 PM				Quarter Final 2	7:15 PM
10/2	Wednesday	12:00 PM to 9:30 PM	New Zealand vs. Canada	7:15 PM	10/20	Sunday	10:00 AM to 9:30 PM	Quarter Final 3	4:15 PM
			Georgia vs. Fiji	2:15 PM				Quarter Final 4	7:15 PM
10/3	Thursday	12:00 PM to 9:30 PM	Ireland vs. Russia	7:15 PM	10/26	Saturday	10:00 AM to 9:30 PM	Semi-Final 1	5:00 PM
			South Africa vs. Italy	6:45 PM	10/27	Sunday	10:00 AM to 9:30 PM	Semi-Final 2	6:00 PM
10/4	Friday	12:00 PM to 9:30 PM			11/1	Friday	12:00 PM to 9:30 PM	Third Place Playoff	6:00 PM
					11/2	Saturday	12:00 PM to 9:30 PM	Final Match	6:00 PM

Area Events Events to watch for in the Fanzone area!

- 9/21 to 9/22 Kamaishi Food Festival
- 10/6 National Toramai Festival
- 10/18 to 10/20 Kamaishi Festival



Check here for the latest information on guests and events!

Kamaishi, Iwate Rugby Information <https://www.rugby-iwate.kamaishi.pref.iwate.jp/index.html>



Enjoy the Rugby World Cup 2019™ Japan in Kamaishi

RUGBY WORLD CUP™ JAPAN 日本2019



Rugby World Cup 2019™ Japan City of Kamaishi, Iwate Prefecture

Wednesday, September 25, 2019
Kickoff at 2:15 p.m. (Doors open at 11:45 a.m.)

Sunday, October 13, 2019
Kickoff at 12:15 p.m. (Doors open at 9:45 a.m.)

Fiji **v** Uruguay

Namibia **v** Canada

These Countries are coming to Kamaishi, Iwate!

A South Pacific nation made up of over 300 islands



[Official Name] Republic of Fiji
[Population] Roughly 890,000 [Capital] Suva



Fiji National Rugby Team Information

World Ranking: 9th (as of July 2019)
Won their first gold medal in rugby at rugby sevens at the 2016 Rio de Janeiro Olympics. When it comes to passing, they run circles around their opponents.

A South American Country That is 90% European Ancestry



[Official Name] República Oriental del Uruguay
[Population] Roughly 3,450,000 [Capital] Montevideo



Uruguay National Rugby Team Information

World Ranking: 19th (as of July 2019)
Their second time in a row participating in this tournament, and fourth time ever. A team confident in their legendary scrum.

A Country Rich in Diamonds and Uranium



[Official Name] Republic of Namibia
[Population] Roughly 2,533,000 [Capital] Windhoek



Namibia National Rugby Team Information

World Ranking: 23rd (as of July 2019)
Has appeared in RWC for five consecutive tournaments. Their characteristic style involves the forward bringing power to the front.

The 2nd Largest Area in the World After Russia



[Population] Roughly 37,240,000 [Capital] Ottawa



Canada National Rugby Team Information

World Ranking: 21st (as of July 2019)
Appearing nine times in the nine tournaments. Their style involves gaining area using kicks and pushing past the opposition using the forward.



Day of the Match How to Get to the Stadium

See here for reservations
Website "Kamaishi, Iwate Rugby Information"



⚠ Please Note

Private vehicles are not permitted at Kamaishi Unosumai Memorial Stadium. (Traffic control will be imposed around the stadium.)

Liner Bus Reservation required, fees apply

One-way: ¥1,000 per person

Those who wish to ride round-trip, please purchase a ticket each way.

A liner bus will be running directly to the stadium from Morioka Station, Iwate Hanamaki Airport (via Shin-Hanamaki Station), Shin-Hanamaki Station, Kitakami Station, Mizusawa-Esashi Station, Ichinoseki Station, Miyako Station, and Sakari Station. For details, please see the website.

Shuttle Bus Reservation required, fees apply

¥500 per person, per day

These are one-day tickets, meaning they can be used round-trip.

Shuttle bus runs from Kamaishi Civic Hall and Sea Plaza Kamaishi.

City Bus

Iwate Prefecture Public Transport Kamaishi Ekimae Bus Stop → Teramae Bus Stop

Train

The station nearest to the stadium is Unosumai Station on the Sanriku Railway Rias Line. Those taking the JR Kamaishi Line will need to transfer at JR Kamaishi Station. (JR Kamaishi Station → Sanriku Railway Unosumai Station)

*Depending on the number of people in your party, you may not be able to board your desired train.

Park & Ride Parking Reservation required, fees apply

¥1,000 per vehicle

The shuttle bus between the parking lot and stadium is free of charge.

Park & Ride Parking is available, letting visitors park private vehicles in Otsuchi, Tono, and Kamaishi, then change to a bus for the stadium.

From Otsuchi IC Parking in Otsuchi

Otsuchi employee parking

From Tono IC Parking in Tono

Tono Athletic Park

From Kamaishi Tani IC Parking in Kamaishi

Heita Special Parking Lot (Near the Fishery Center, adjacent to Iwate University, Kamaishi Campus)



Latest information on the Rugby World Cup 2019™ is available here

Rugby World Cup 2019

Search

<https://www.rugbyworldcup.com/>



Website "Kamaishi, Iwate Rugby Information"

For how to get to the stadium, precautions for spectators, and the latest information, please check the website beforehand. We also post about accommodation, local event information, and other information that will serve you when you come to watch rugby in Kamaishi, Iwate!

Setting Sail Towards the Future

Kamaishi Unosumai Memorial Stadium KICK OFF Decralation

I love Kamaishi.
Because of its rich nature, surrounded by mountains and the sea.
I love Kamaishi.
Because of its air, its people and their hearts, beautiful and warm.
I love rugby.
Because, in my 2nd year of junior high, I watched my first game at the 2015 Rugby World Cup in England.
I was overwhelmed with emotion by the power and atmosphere inside the stadium.
I love rugby.
Because after the game, I was struck by the sight of fans from both sides shaking hands and helping each other clean up the rubbish.
March 11, 7 years ago.
I was in 3rd grade elementary school, in the middle of maths class.
I put on warm clothes and ran up to the fifth floor.
There was a landslide, so we ran to an even higher place.
If I had looked back, I might have seen the tsunami as it swallowed Unosumai.
But I rushed forward, thinking "I just have to run".
We rode in the back of a truck that happened to pass by, and evacuated to the town gymnasium.
Standing in one line to receive one rice cracker, divided between two. One glass of water.
I can't really recall how I felt at the time.
I do remember how it felt eating that first rice ball several days later happy to be alive.

2019.
The international championship of the sport that I love, will be held in the town that I love.
The stadium is complete.
And Kamaishi will be connected to the rest of the world.
Now I want to show thanks to everyone across Japan, and across the world, who supported us all in Kamaishi at that time.
This stadium was built on the place where my elementary school once stood.
The place where the junior high school I was meant to go to once stood.
An important place where I will be reunited with my friends after our long separation.
Today is the day when this stadium, filled with all these emotions, is born.
On this day, I want to say thank you to everyone in Japan who loves Kamaishi, and everyone in the world who loves rugby.
Thank you to everyone in the world for your support.
We have recovered and will move onwards from the earthquake.
We are looking forward to seeing you in Kamaishi next year.
This stadium carries our gratitude, and will set sail towards the future today.
19th August, 2018

Rui Horaguchi 2nd Grade, Kamaishi High School



"Setting Sail Towards the Future"

This is the kickoff speech performed by second year Kamaishi High School student Rui Horaguchi the opening day of Kamaishi Unosumai Memorial Stadium. Horaguchi was a third grader in elementary school at the time of the Great East Japan Earthquake. Kamaishi Unosumai Memorial Stadium now stands on the site of the school she attended at the time, which was destroyed in the tsunami.



See here for the Kickoff Speech video



Expresses the wealth of nature surrounding the stadium. The red circle represents the sunrise over the sea, indicating the start of a new journey, while the three waves represent the open sky, wealth of forests, and abundant seas surrounding the stadium.

In hosting the Rugby World Cup 2019™, we are grateful for the opportunity to welcome people from all over Japan and the world, and hope that the indomitable spirit of our small town will lead to success and tell of our hope and pride to the next generation.

Kamaishi Unosumai Memorial Stadium



Spreading Our Wings and Embarking on a New Journey After the Earthquake

The enormous roof of the main stand was modeled after bird feathers and the ship sails. This represents a new start focused on recovery, spreading our wings and embarking on a new journey after the earthquake.



A Stadium Surrounded By Lush Nature

Surrounded by lush nature, this stadium welcomes visitors from around the world with shutters to provide shade, five restroom buildings, 108 benches, and 4,990 wooden seats made from damaged trees (roughly 800 cedars) from the Ozaki Peninsula Forest Fire that broke out in the city in May 2017.



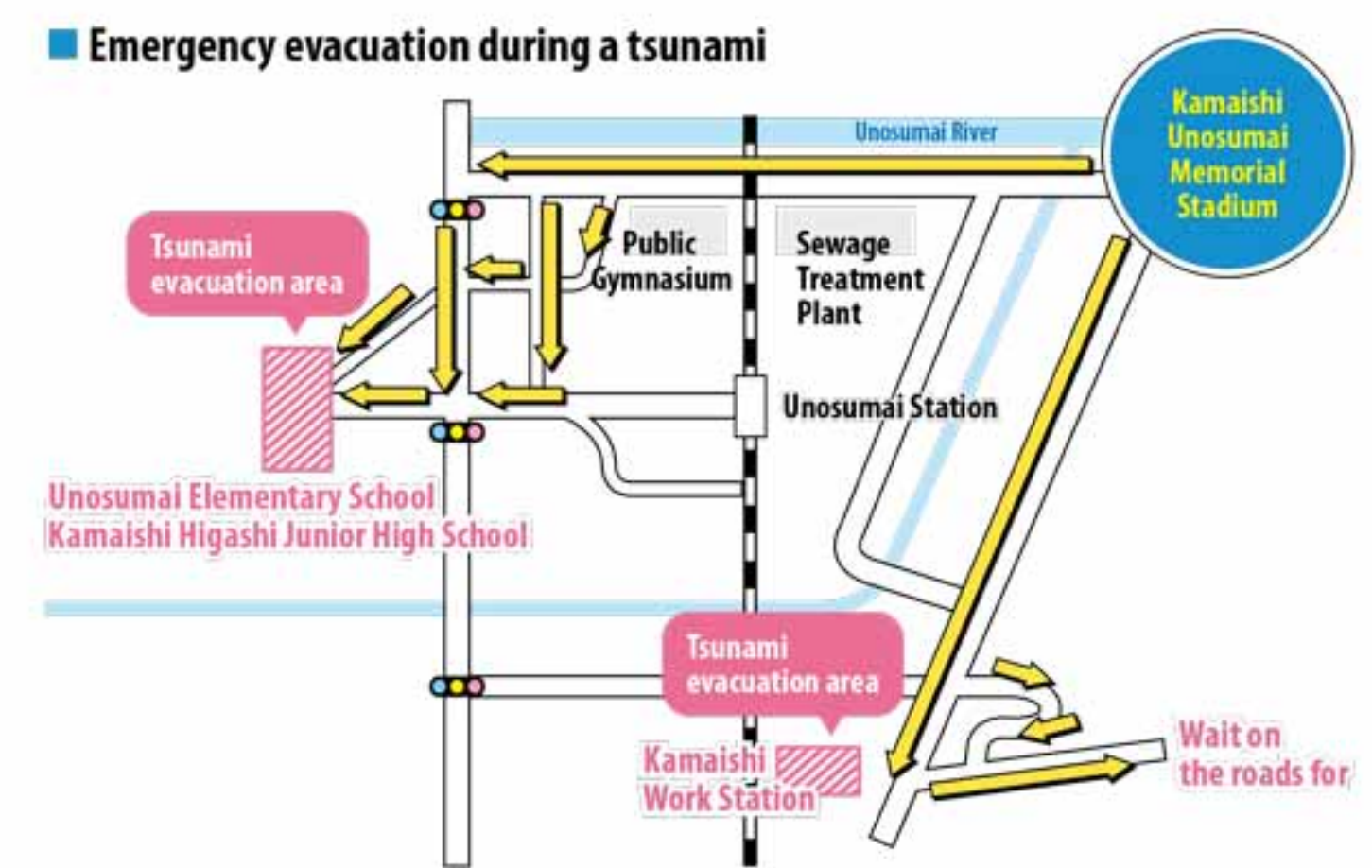
Providing Ideal Ground Conditions

By adopting a hybrid turf that helps improve ground soil (the first in Japan) with excellent durability, shock absorption, and maintainability, we can provide ground conditions required for world-class performance.



A Place Symbolizing Disaster Preparedness

The behavior during evacuation of the children and students of Unosumai Elementary School & Kamaishi Higashi Junior High School, in which they held hands and helped each other escape from the tsunami during the 2011 Great East Japan Earthquake, has been reported all around the world. Built on the site of this elementary/junior high school, Kamaishi Unosumai Memorial Stadium conveys our memories of the earthquake as well as our wisdom regarding disaster preparedness, while sharing the concepts behind disaster preparedness in the city of Kamaishi.



Learning from the Great East Japan Earthquake, we've set two locations as tsunami evacuation sites from the stadium, Unosumai Elementary & Kamaishi Higashi Junior High School and Kamaishi Work Station, and will promptly evacuate spectators should a tsunami warning or higher be announced.

Table of Contents

Setting Sail Towards the Future	2	TRY!08 Kamaishi Map	16
Kamaishi Unosumai Memorial Stadium	3	TRY!09 Tourist Attractions of Iwate	18
TRY!01 Enjoy the Rugby World Cup 2019™ Japan in Kamaishi	4	TRY!10 Going around World Heritage Sites of Iwate	20
TRY!02 Fanzone in Iwate-Kamaishi	6	TRY!11 Michinoku Shiohaze Trail & Sanriku Geopark	22
TRY!03 Public Viewing	8	TRY!12 Hot Spring Tour in Iwate	24
TRY!04 Iwate Events	9	TRY!13 Iwate Dining	26
TRY!05 Reconstruction following the Great East Japan Earthquake and Tsunami	10	TRY!14 Traditional Crafts of Iwate	28
TRY!06 Disaster Memorial Facilities in Iwate	12	Access Guide	30
TRY!07 Kamaishi Town Walk	14	Just a Hop, Skip, and a Jump Away From Iwate!	31
		Terms of Use	

All the info you need about the rugby city in one book!

English
反対面は日本語版
The opposite side is in Japanese

IWATE KAMAISHI

Rugby Guidebook

Let's enjoy fun and beautiful Iwate and Kamaishi!

Learn the history of our industry
**Iron and Steel
History Museum**



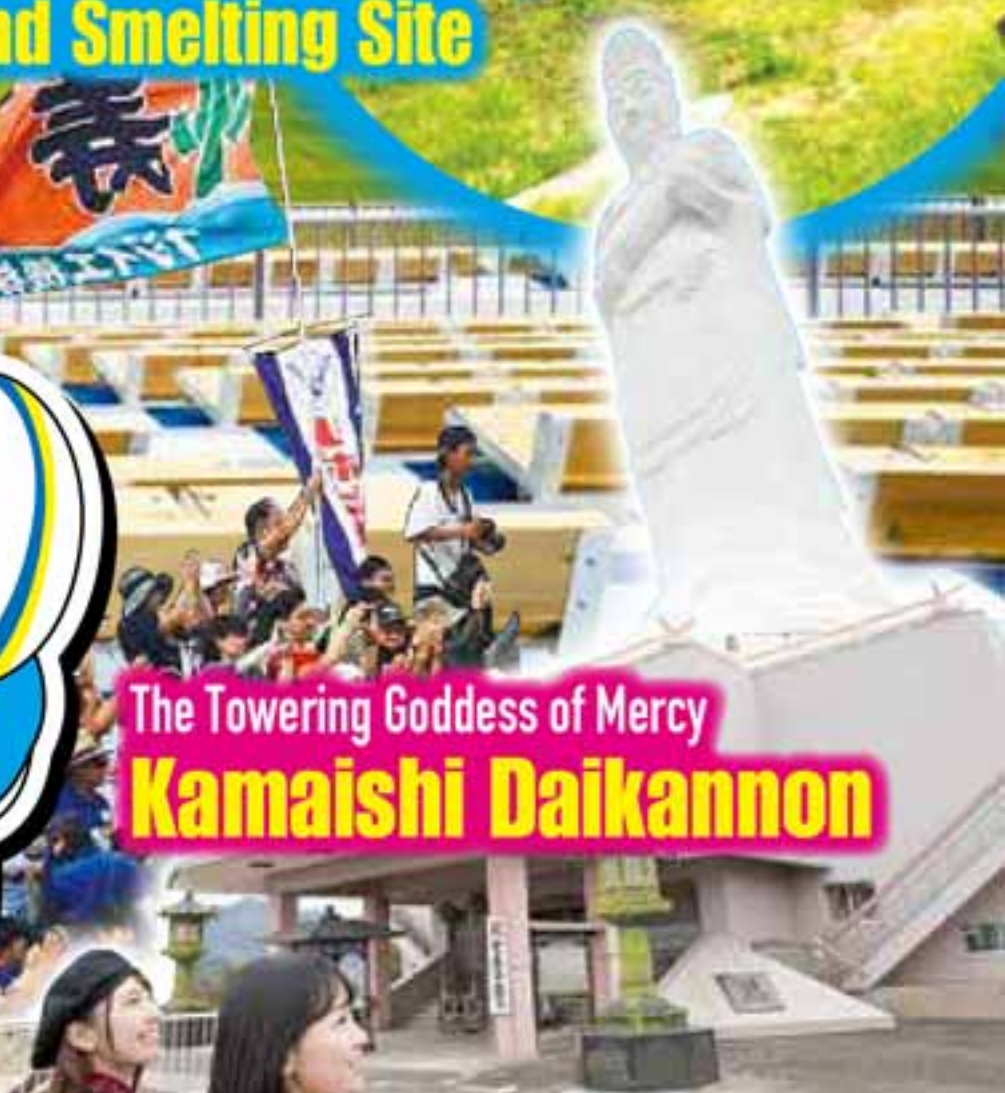
A Stadium Filled With the Hopes, Dreams,
and Courage of the People
**Kamaishi Unosumai
Memorial Stadium**



A must see! World Heritage Site
**Hashino Iron Mining
and Smelting Site**



The Towering Goddess of Mercy
Kamaishi Daikannon



Iwate Prefecture's mascot
Rugger Sobacchi

Kamaishi City's mascot
Rugger Kamarin

